
令和3年度
全国学力・学習状況調査

児童生徒質問紙調査 の分析及び分析結果

旭川市教育委員会

学習習慣・生活習慣編

児童生徒質問紙調査について

..... 1

1 分析について

- (1) 質問項目の分類の考え方
- (2) 分析結果の整理
- (3) クロス集計

2 小学校の部

..... 4

(1) 学びを深める授業づくり

- ①地域や社会に関わる活動の状況等
- ②ICTを活用した学習状況
- ③主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ④総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳
- ⑤学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）
- ⑥学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）
- ⑦学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）

(2) 落ち着いた学級づくり

- ①挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

(3) 望ましい学習習慣づくり

- ①基本的生活習慣等
- ②学習習慣、学習環境等

(4) コロナ禍における学びを止めない対応

○分析結果
○改善策
○肯定的な回答が高い（低い）割合を示した質問項目
○肯定的な回答が全国の数値を上回った（下回った）質問項目
○肯定的な回答が増加（減少）傾向にある質問項目
○正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

3 中学校の部

..... 31

(1) 学びを深める授業づくり

- ①地域や社会に関わる活動の状況等
- ②ICTを活用した学習状況
- ③主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ④総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳
- ⑤学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）
- ⑥学習に対する興味・関心や授業の理解度等（数学）
- ⑦学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）

(2) 落ち着いた学級づくり

- ①挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

(3) 望ましい学習習慣づくり

- ①基本的生活習慣等
- ②学習習慣、学習環境等

(4) コロナ禍における学びを止めない対応

○分析結果
○改善策
○肯定的な回答が高い（低い）割合を示した質問項目
○肯定的な回答が全国の数値を上回った（下回った）質問項目
○肯定的な回答が増加（減少）傾向にある質問項目
○正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

1 分析について

(1) 質問項目の分類の考え方

児童生徒に対する質問紙調査の全質問項目（小学校69，中学校69）について，国立教育政策研究所の報告書では，質問項目を12個に分類していますが，この国立教育政策研究所の分類と本市の確かな学力育成プランの3つのカテゴリー（「学びを深める授業改善」「落ち着いた学級づくり」「望ましい学習習慣づくり」）との関連付けを図り，下の表のとおり整理しました。

カテゴリー	国立教育政策研究所の分類	質問番号	
1 学びを深める授業づくり	地域や社会に関わる活動の状況等	小	24，25（2問）
		中	24，25（2問）
	I C Tを活用した学習状況	小	26～29（4問）
		中	26～29（4問）
	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況	小	31～38（8問）
		中	31～38（8問）
	総合的な学習の時間，学級活動，特別の教科 道徳	小	39～42（4問）
		中	39～42（4問）
	学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）	小	43～51（9問）
		中	43～51（9問）
2 落ち着いた学級づくり	挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等	小	6～16（11問）
		中	6～16（11問）
3 望ましい学習習慣づくり	基本的生活習慣等	小	1～5（5問）
		中	1～5（5問）
	学習習慣，学習環境等	小	17～23，30（8問）
		中	17～23，30（8問）
※ コロナ禍における学びを止めない対応	新型コロナウイルス感染症の影響	小	64～67（4問）
		中	64～67（4問）

(2) 分析結果の整理

質問項目に「している」「どちらかといえばしている」など，肯定的な回答をした児童生徒の割合が80%以上のものを「肯定的な回答が高い割合を示した質問事項」とし，肯定的な回答が60%未満のものを「肯定的な回答が低い割合を示した質問事項」として整理しました。

(3) クロス集計

教科に関する調査結果における正答率の高い児童生徒（U層）とそれ以外の児童生徒（E層）の質問紙調査の回答状況を比較し，各教科の正答率と学習状況・生活習慣との相関関係を分析しました。

(4) 児童生徒質問項目

旭川プラン	国研分類	改善策	小	中	
習慣づくり	基本的な生活習慣	③	1	1	朝食を毎日食べていますか
		③	2	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
		③	3	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
		③	4	4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
		③	5	5	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか
学級づくり	挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等		6	6	自分には、よいところがあると思いますか
			7	7	将来の夢や目標を持っていますか
			8	8	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか
			9	9	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか
			10	10	人が困っているときは、進んで助けていますか
			11	11	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
			12	12	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
			13	13	学校に行くのは楽しいと思いますか
		②	14	14	自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか
		②	15	15	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
習慣づくり	学習習慣等		16	16	友達と協力するのは楽しいと思いますか
		③	17	17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
		③	18	18	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
		③	19	19	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
			20	20	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）
			21	21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
			22	22	あなたの家には、おおよそどれくらい本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）
			23	23	新聞を読んでいますか
授業づくり	地域・社会		24	24	今住んでいる地域の行事に参加していますか
			25	25	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
	ICT	①	26	26	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか
		①	27	27	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか
		①	28	28	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
習慣づくり	学習習慣等	①	29	29	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか
			30	30	あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか
授業づくり	主体的・対話的で深い学び		31	31	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか
			32	32	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
		①	33	33	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
授業づくり		①	34	34	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか
			35	35	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
			36	36	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか

			37	37	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
			38	38	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
	道徳等		39	39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
			40	40	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
			41	41	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
			42	42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
	国語		43	43	国語の勉強は好きですか
			44	44	国語の勉強は大切だと思いますか
			45	45	国語の授業の内容はよく分かりますか
			46	46	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
			47	47	国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか
			48	48	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか
			49	49	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか
			50	50	国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか
			51	51	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか
	算数・数学		52	52	算数の勉強は好きですか
			53	53	算数の勉強は大切だと思いますか
			54	54	算数の授業の内容はよく分かりますか
			55	55	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
			56	56	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
			57	57	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか
			58	58	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか
			59	59	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか
			60	60	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか
	英語		61	61	英語の勉強は好きですか
			62	62	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか
			63	63	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）
コロナ禍の対応	新型コロナウイルス感染症の影響	④	64	64	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか
		④	65	65	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか
		④	66	66	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか
		④	67	67	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）
授業	時間		68	68	解答時間は十分でしたか（国語）
			69	69	解答時間は十分でしたか（算数）

2 小学校の部

(1)「学びを深める授業づくり」について

【質問番号】24、25（2問）

①地域や社会に関わる活動の状況等

分析結果

- 2質問項目中、2項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 2質問項目中、2項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 本市では、地域や社会に関わる活動の状況等についての質問に、肯定的な回答をした児童の割合が低い傾向にあり、指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の行事が中止になったり、減少傾向にあるためと分析しました。

改善策

- 児童が、地域や社会に関わる出来事や行事に関心を持てるようにするためには、朝の会や帰りの会等の中で、教師が地域や社会に関わる説話をしたり、児童が感心を持った地域や社会に関わる新聞記事やニュースを紹介する場面を設定したりするなどの工夫が大切です。
- 児童が、地域や社会に関わる出来事や行事に関心を持てるようにするためには、各教科等の学習を通して、地域や社会に関する様々な知識や考え方について指導する機会を確保したり、教室の掲示物により教室環境を整備したりするなどの工夫が大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 24 今住んでいる地域の行事に参加していますか（50.7%）
- 25 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（50.4%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 24 今住んでいる地域の行事に参加していますか（▲7.4）
- 25 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（▲2.0）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

分析結果

- 4質問項目中、1項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。「26 5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」
「27 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」の2項目において「週1回以上使用している」との回答が低い割合を示しました。
- 4質問項目中、全ての項目において、全国の数値を上回っており、各小学校において、ICT機器を活用した学習指導に向けた授業改善が校内研修等を通じて、着実に進められている状況であると分析しました。

改善策

- 学びを深める授業づくりにおいて、一斉学習、個別学習、協働学習のねらいに応じてICT機器を活用することが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P22
「タブレット端末などのICTを活用した授業改善の在り方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 28 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
(96.2%)

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 26 5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか(45.6%)
27 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか(59.5%)
※この2つの質問項目については、週1回以上の割合を肯定的な回答としました。
- 29 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(46.2%)
※この質問項目については、30分以上の割合を肯定的な回答としました。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※()内の数値は、全国との差を表しています。

- 26 5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか(5.5)
27 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか(20.5)
※この2つの質問項目については、週1回以上の割合を肯定的な回答としました。
- 28 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか(1.7)

29 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（4.8）

※この質問項目については、30分以上の割合を肯定的な回答としました。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

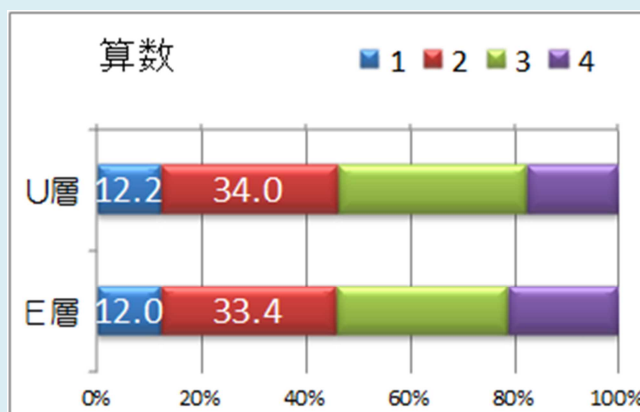
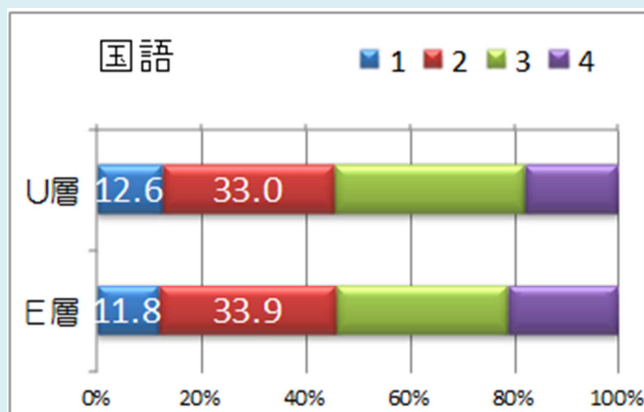
※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

26 5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか

1 ほぼ毎日
3 月1回以上

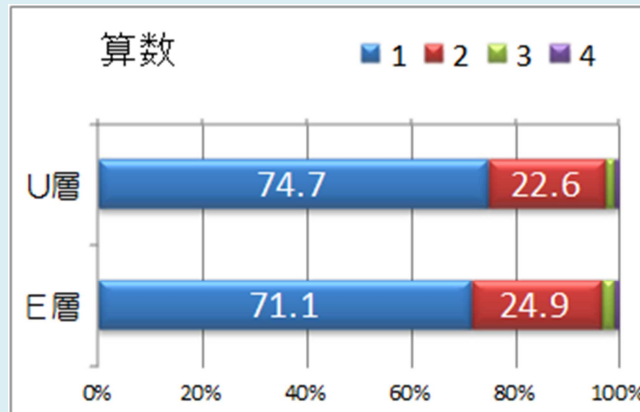
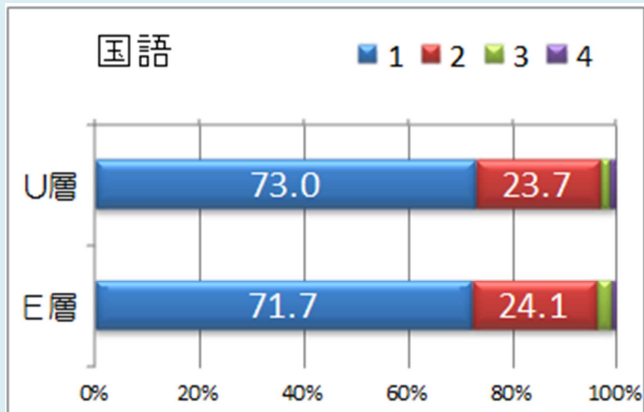
2 週1回以上
4 月1回未満



28 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか

1 当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない

2 どちらかといえば、当てはまる
4 当てはまらない



③主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

分析結果

【質問番号】31～38（8問）

- 8質問項目中、5項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 8質問項目中、7項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「36 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」の1項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、「32 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」「33 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の項目で肯定的な回答が増加傾向にあります。
- 「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」、「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」児童は、教科に関する調査において、正答数が高い傾向にあります。
- 8質問項目中、7項目において、全国の数値を上回っており、各小学校において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が校内研修等を通じて、着実に進められている状況であると分析しました。

改善策

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するためには、児童の学習状況等に着目し、学習指導の改善・充実を図る観点から、学校全体で組織的・継続的な取組を進めることが大切です。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進するためには、各教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせる場面を設定したり、ICTを効果的に活用するなどの手立てを工夫したりすることが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P22
「タブレット端末などのICTを活用した授業改善の在り方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 31 5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか（84.2%）
- 33 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（80.8%）
- 35 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか（84.2%）
- 36 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか（95.1%）

37 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか（81.3%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 31 5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかり伝えていましたか（1.6）
- 32 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか（3.3）
- 33 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（2.6）
- 34 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか（3.5）
- 35 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか（2.8）
- 37 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか（2.5）
- 38 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか（0.2）

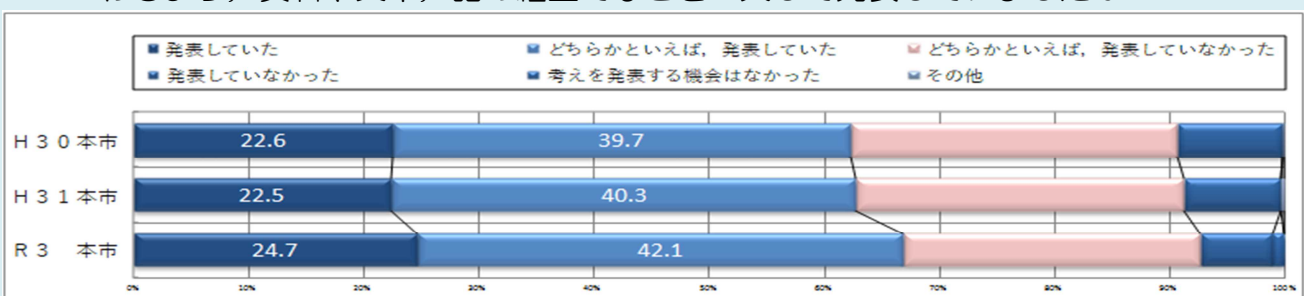
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

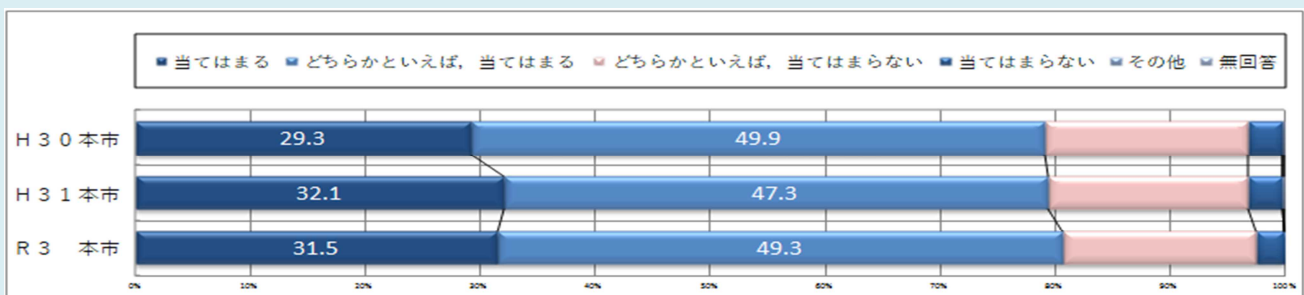
- 36 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができていますか（▲0.4）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

- 32 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



- 33 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



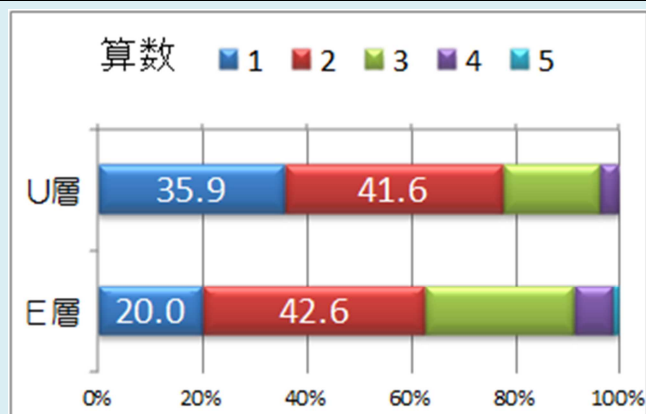
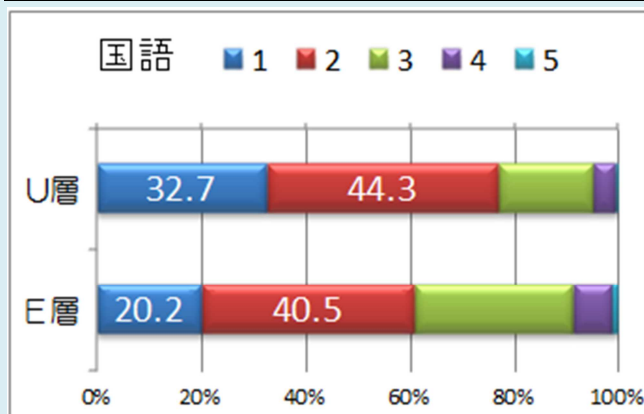
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

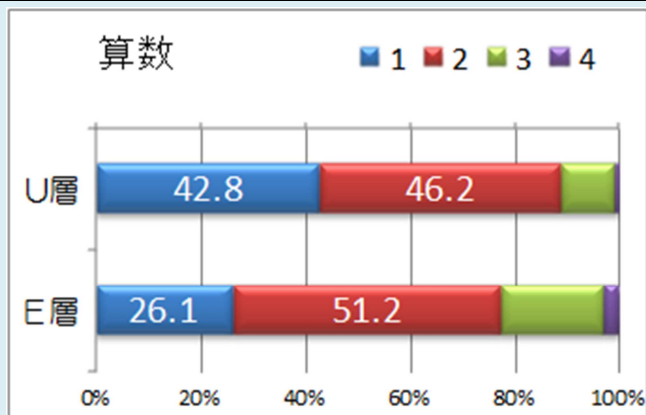
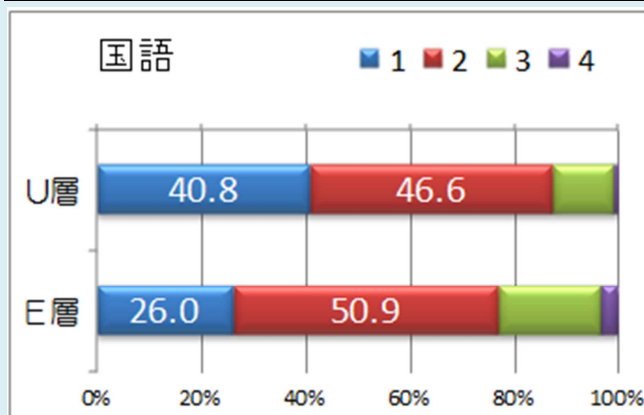
32 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

- 1 発表していた 2 どちらかといえば、発表していた 3 どちらかといえば、発表していなかった
4 発表していなかった 5 考えを発表する機会はなかった



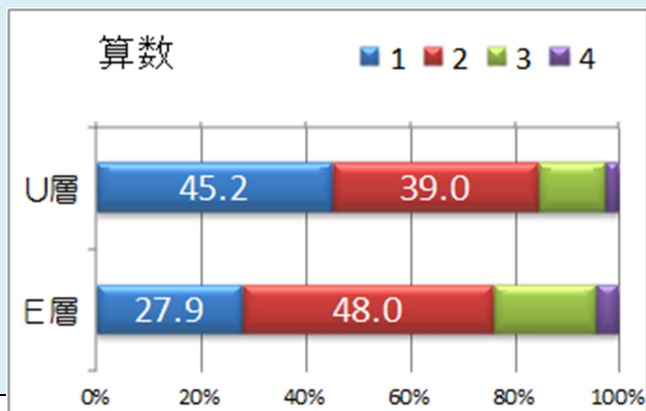
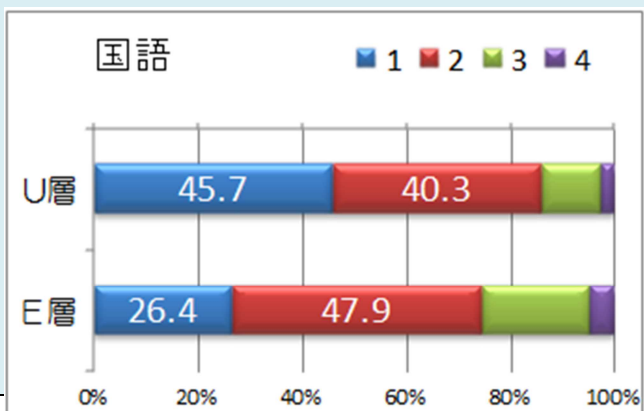
33 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

- 1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない



38 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

- 1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない



分析結果

- 4質問項目中、「39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」「42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」の2項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。
- 肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 4質問項目中、3項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。
- 各小学校において、「考え、議論する道徳」の実践や総合学習の時間の充実が着実に進められている状況であると分析しました。

改善策

- 4質問項目中、全ての項目において、肯定的な回答が高い割合を示したり、肯定的な回答が全国の数値を上回ったりしており、今後もこれまでと同様に、授業改善を進めていくことが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか（82.3%）
- 42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか（81.1%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか（9.3）
- 40 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか（2.0）
- 41 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか（1.6）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

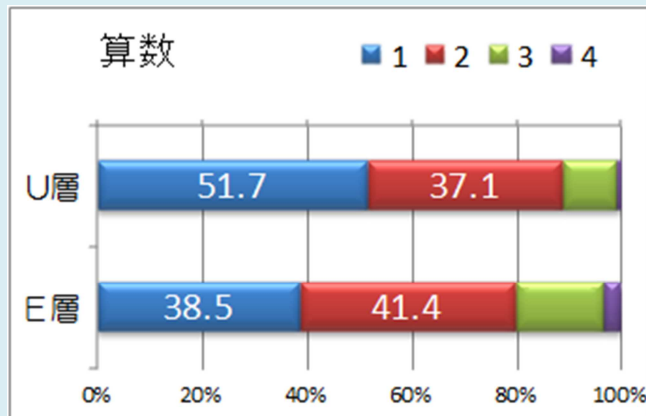
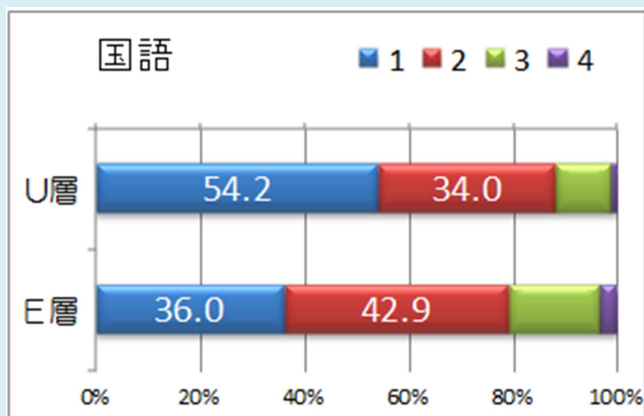
39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

1 当てはまる

2 どちらかといえば、当てはまる

3 どちらかといえば、当てはまらない

4 当てはまらない



分析結果

- 9質問項目中、「44 国語の勉強は大切だと思いますか」などの5項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、肯定的な回答が低い割合を示す項目は、「国語の勉強は好きですか」でした。
- 9質問項目中、8項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。
- 本市では、国語に関する授業の理解度や重要度等についての質問に、肯定的に回答した児童の割合が高い傾向にありますが、興味・関心についての質問に、肯定的に回答した児童の割合が低い傾向にあり、分かる授業により学習意欲を高める指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- 児童が「分かる」授業を行うためには、育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。
- 児童が「分かる」授業を行ったり、児童に学んだことを活用させたりするためには、単元や内容のまとまりを意識し、効果的なまとめや振り返りを行うことが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 44 国語の勉強は大切だと思いますか（95.4%）
- 45 国語の授業の内容はよく分かりますか（86.8%）
- 46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（93.7%）
- 47 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか（83.9%）
- 51 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか（83.7%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 43 国語の勉強は好きですか（57.9%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 44 国語の勉強は大切だと思いますか（2.2）
- 45 国語の授業の内容はよく分かりますか（2.6）
- 46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（1.9）
- 47 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか（1.7）
- 48 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか（1.8）
- 49 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるよ

うに書いたり表現を工夫して書いたりしていますか（3.2）

50 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか（2.5）

51 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか（2.4）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

43 国語の勉強は好きですか（▲0.5）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

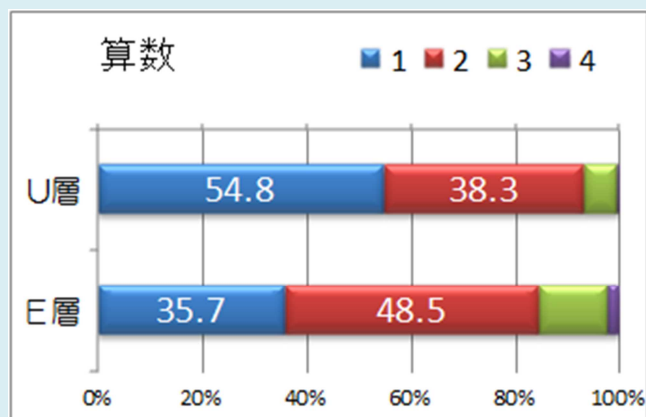
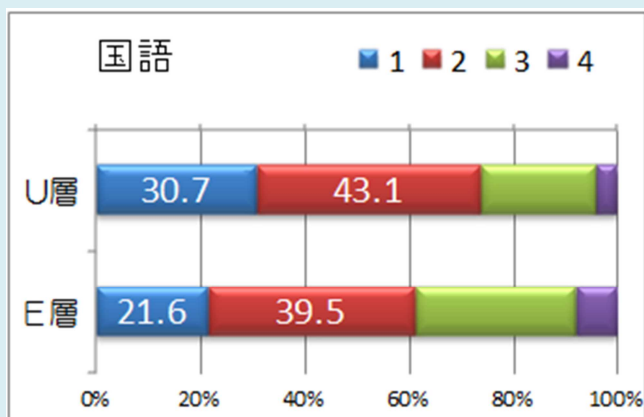
45 国語の授業の内容はよく分かりますか

1 当てはまる

2 どちらかといえば、当てはまる

3 どちらかといえば、当てはまらない

4 当てはまらない



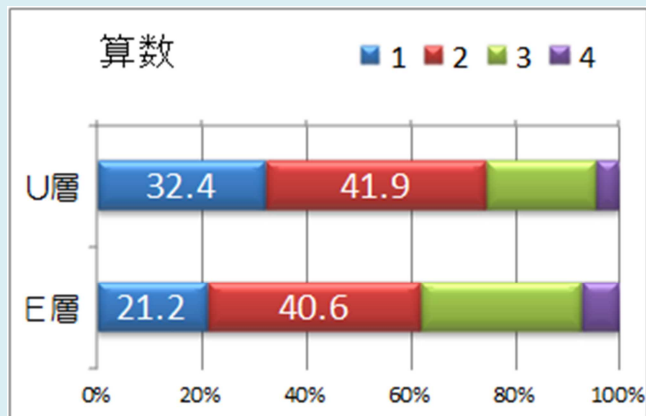
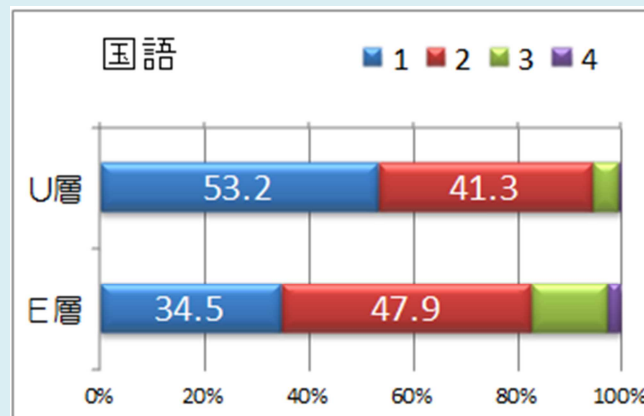
48 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか

1 当てはまる

2 どちらかといえば、当てはまる

3 どちらかといえば、当てはまらない

4 当てはまらない



50 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか

1 当てはまる

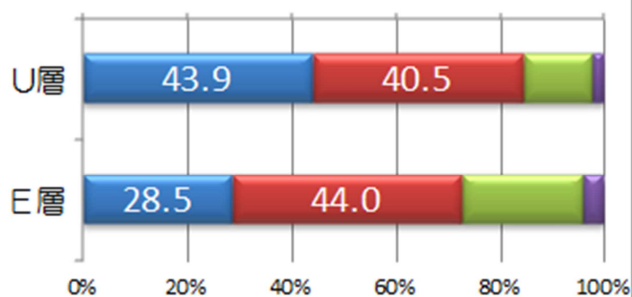
2 どちらかといえば、当てはまる

3 どちらかといえば、当てはまらない

4 当てはまらない

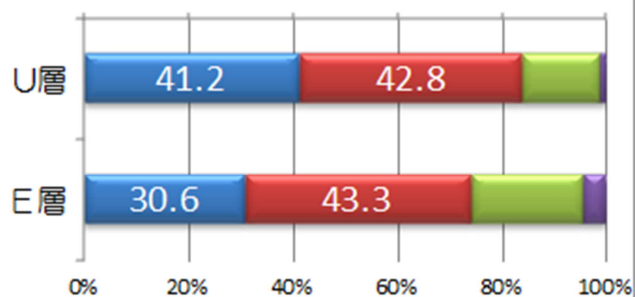
国語

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4



算数

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4



分析結果

- 9質問項目中、「53 算数の勉強は大切だと思いますか」、「55 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」などの7項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 9質問項目中、4項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「59 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」などの5項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、「52 算数の勉強は好きだ」などの5項目において、肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方、肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。
- 本市では、算数に関する授業の理解度や重要度等についての質問に、肯定的に回答した児童の割合が高い傾向にありますが、興味・関心についての質問に、肯定的に回答した児童の割合が低い傾向にあり、分かる授業により学習意欲を高める指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- 児童が「分かる」授業を行うためには、育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。
- 児童が「分かる」授業を行ったり、児童に学んだことを活用させたりするためには、単元や内容のまとまりを意識し、効果的なまとめや振り返りを行うことが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 53 算数の勉強は大切だと思いますか（94.5%）
- 54 算数の授業の内容はよく分かりますか（84.0%）
- 55 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（93.2%）
- 57 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか（82.4%）
- 58 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか（89.8%）
- 59 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（91.7%）
- 60 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか（81.4%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 53 算数の勉強は大切だと思いますか（0.7）
- 55 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（0.6）
- 58 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか（0.8）
- 60 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか（1.5）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 52 算数の勉強は好きですか（▲3.9）
- 54 算数の授業の内容はよく分かりますか（▲0.6）
- 56 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか（▲0.4）
- 57 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか（▲0.3）
- 59 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（▲0.2）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

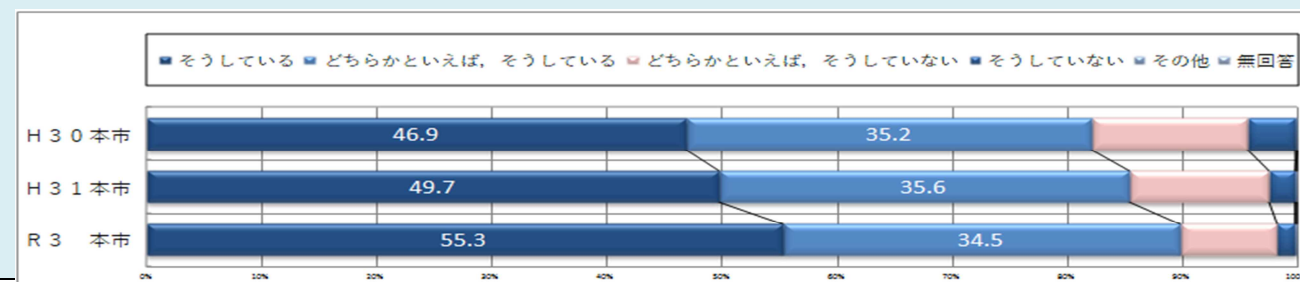
53 算数の勉強は大切だと思いますか



57 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



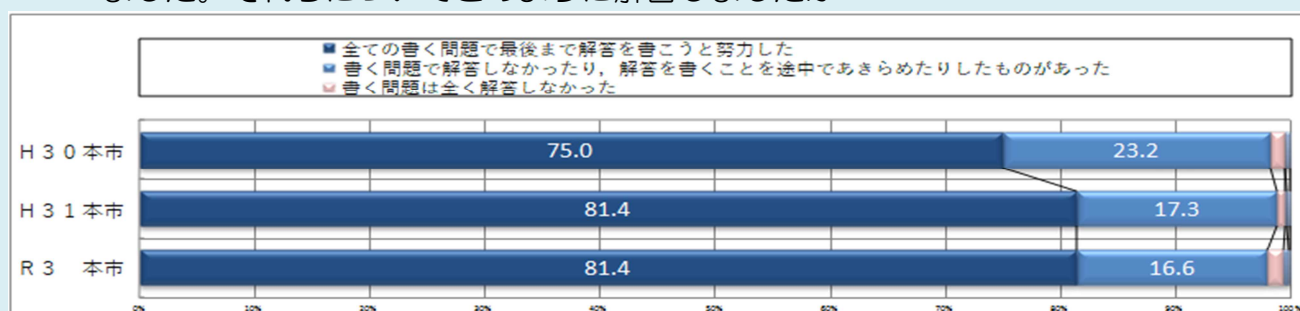
58 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



59 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



60 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか



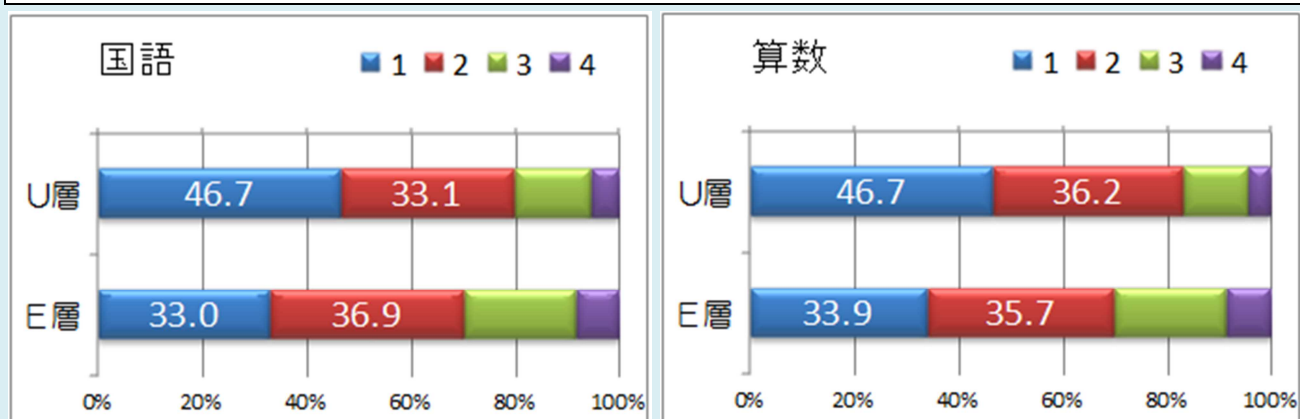
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

56 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



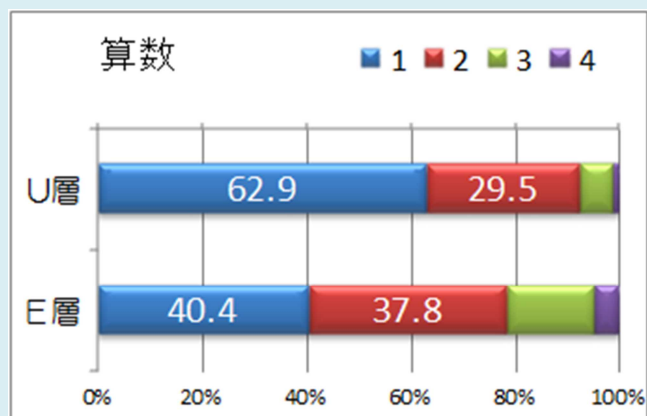
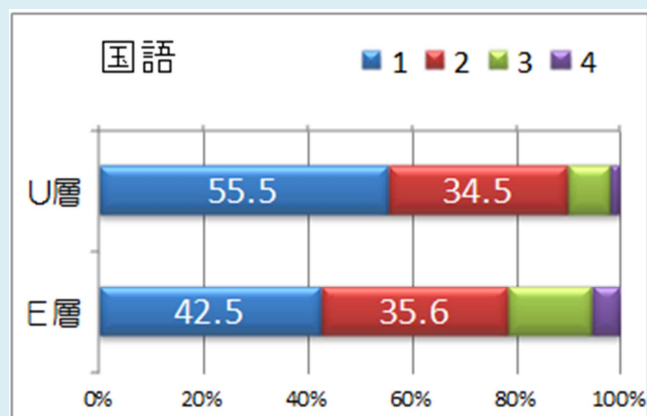
57 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

1 当てはまる

2 どちらかといえば、当てはまる

3 どちらかといえば、当てはまらない

4 当てはまらない



分析結果

- 3質問項目中、肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。一方、「63 これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）」の1項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 本市では、英語に関する授業の興味・関心についての質問に、肯定的に回答した児童の割合が低い傾向にあり、分かる授業により学習意欲を高める指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- 児童が「分かる」授業を行うためには、育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。
- 児童が「分かる」授業を行ったり、児童に学んだことを活用させたりするためには、適切な言語活動を設定することが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- ※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 63 これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）（40.0%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 62 5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか（1.1）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 61 英語の勉強は好きですか（▲1.0）
- 63 これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）（▲4.4）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

- ※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

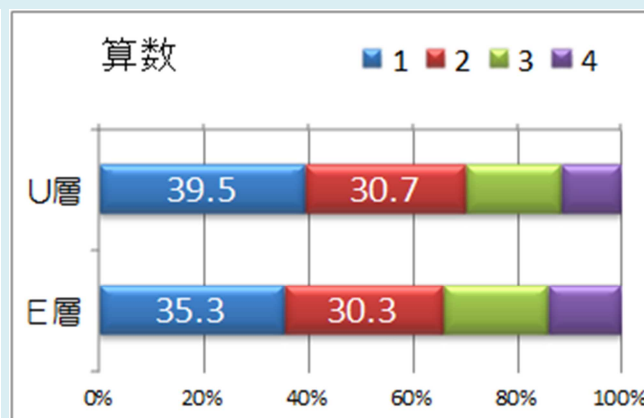
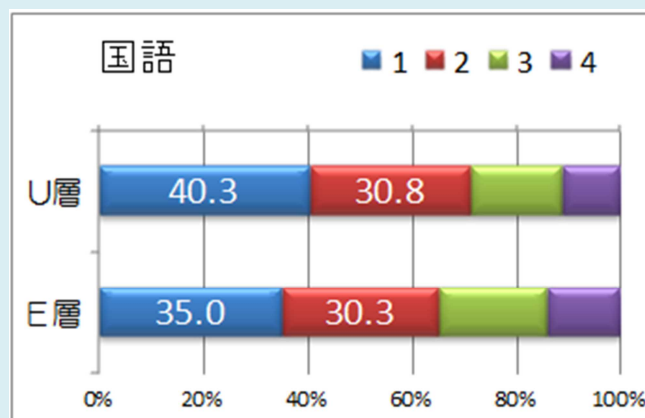
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

- ※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

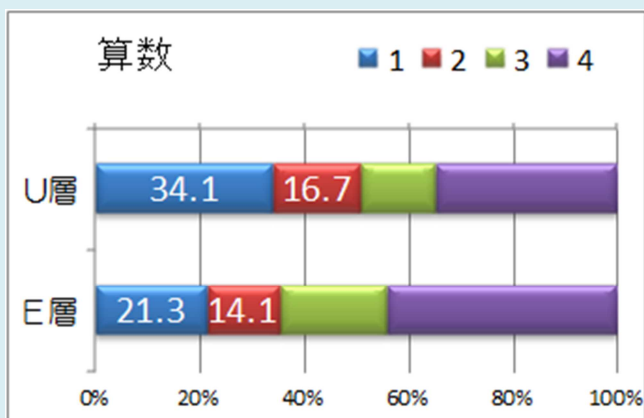
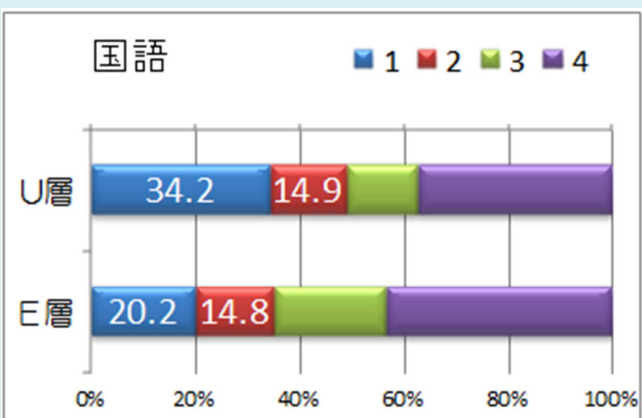
6 1 英語の勉強は好きですか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



6 3 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



(2)「落ち着いた学級づくり」について

①挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

【質問番号】6～16（11問）

分析結果

- 11 質問項目中、「15 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」などの6項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 11 質問項目中、「8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」などの4項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「13 学校に行くのは楽しいと思いますか」などの7項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、肯定的な回答が増加傾向にある項目はありませんでした。一方、「6 自分には、よいところがあると思いますか」において、減少傾向を示しました。
- 「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる」児童は、教科に関する調査において、正答数が高い傾向にあります。
- 本市では、規範意識についての質問に、肯定的に回答した児童の割合が高い傾向にあり、望ましい状況であると分析しました。一方、自己有用感についての質問に、肯定的に回答した児童の割合が低い傾向にあり、改善が求められる状況であると分析しました。

改善策

○児童が、自信をもって自分の考えを伝えたり、互いの考えを深めたりするには、安心して自分を表現できる落ち着いた学級づくりが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P26
「隠れたカリキュラムを意識した人間関係づくりの進め方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか（84.5%）
- 10 人が困っているときは、進んで助けていますか（89.3%）
- 11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（98.5%）
- 12 人の役に立つ人間になりたいと思いますか（95.4%）
- 13 学校に行くのは楽しいと思いますか（82.0%）
- 16 友達と協力するのは楽しいと思いますか（94.0%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか（0.2）
- 10 人が困っているときは、進んで助けていますか（0.6）
- 11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（1.7）
- 16 友達と協力するのは楽しいと思いますか（0.1）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

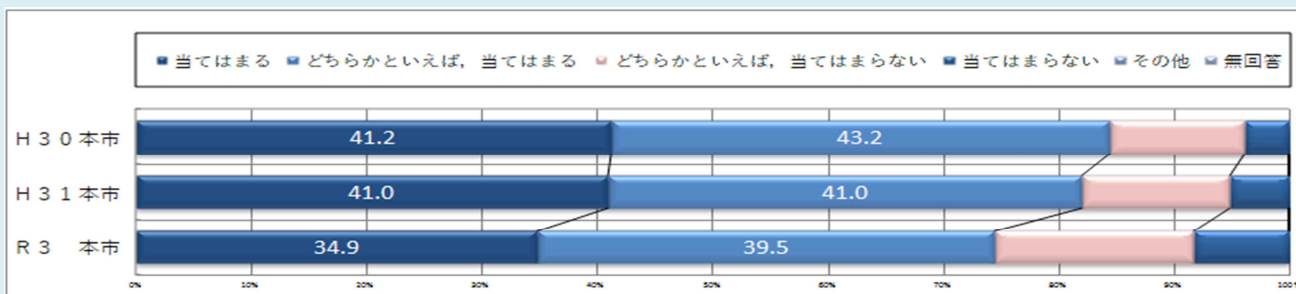
- 6 自分には、よいところがあると思いますか (▲2.9)
- 7 将来の夢や目標を持っていますか (▲0.7)
- 9 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか (▲0.1)
- 12 人の役に立つ人間になりたいと思いますか (▲0.1)
- 13 学校に行くのは楽しいと思いますか (▲1.4)
- 14 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか (▲1.6)
- 15 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか (▲1.4)

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

6 自分には、よいところがあると思いますか



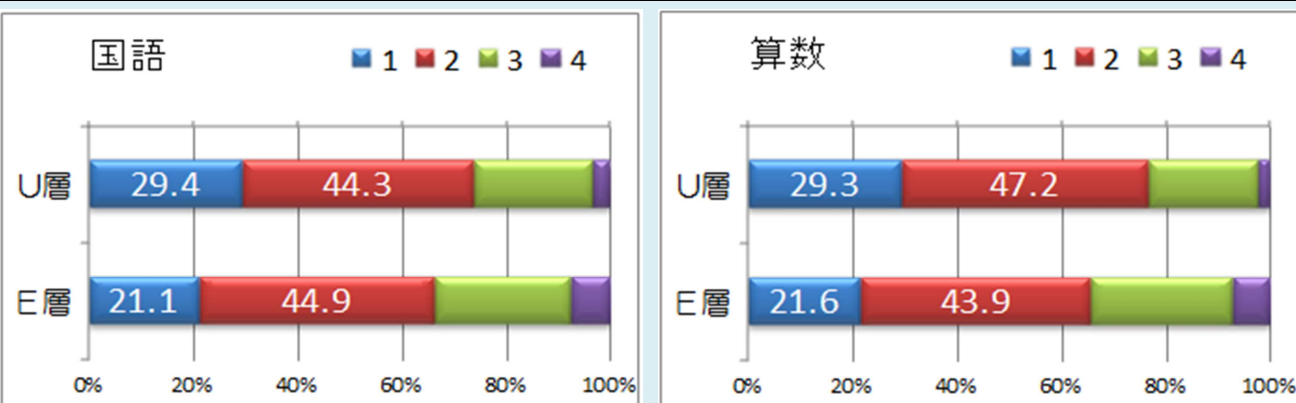
7 将来の夢や目標を持っていますか



正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

14 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない



15 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

1 当てはまる

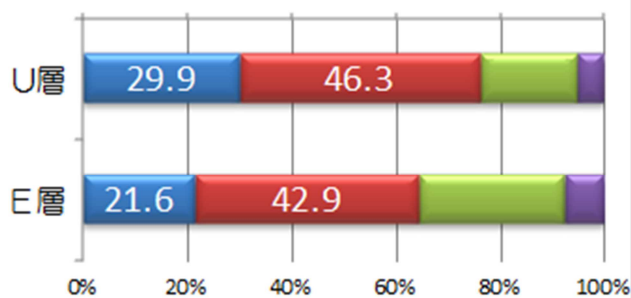
2 どちらかといえば、当てはまる

3 どちらかといえば、当てはまらない

4 当てはまらない

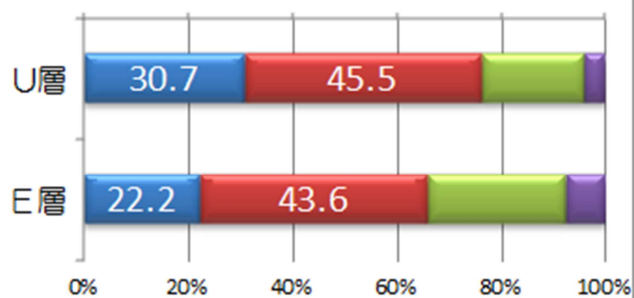
国語

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4



算数

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4



(3)「望ましい学習習慣づくり」について

【質問番号】 1～5（5問）

①基本的生活習慣等

分析結果

- 5質問項目中、「1 朝食を毎日食べていますか」などの4項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 5質問項目中、「4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の項目において、肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」などの3項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。
- 本市では、基本的生活習慣等についての一連の質問に、肯定的に回答した児童の割合は、平成30年度、平成31年度とほぼ同様の傾向にあり、引き続き、基本的生活習慣を身に付けさせる指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

○アウトメディアや「LS（Life&Study）プランチェックシート」を活用するなどして、自主学習の取組意欲の向上を図ることが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P28
「メディアへの接触を減らし、計画的な自主学習を促す指導の在り方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 1 朝食を毎日食べていますか（93.2%）
- 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか（80.4%）
- 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（90.1%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか（2.5）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 1 朝食を毎日食べていますか（▲1.7）
- 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか（▲0.8）
- 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（▲0.3）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

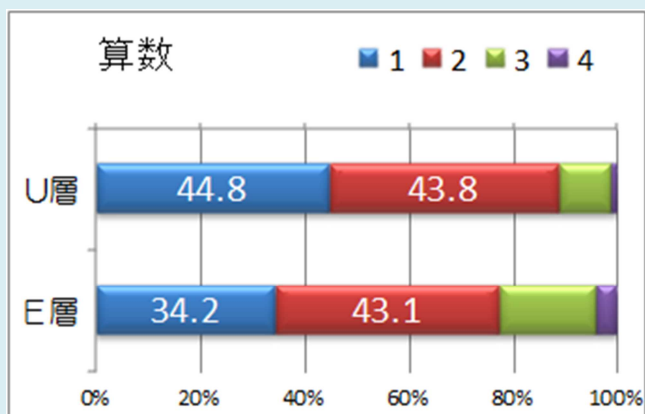
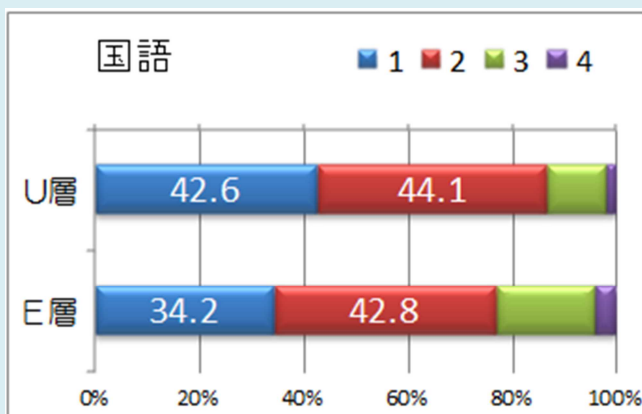
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

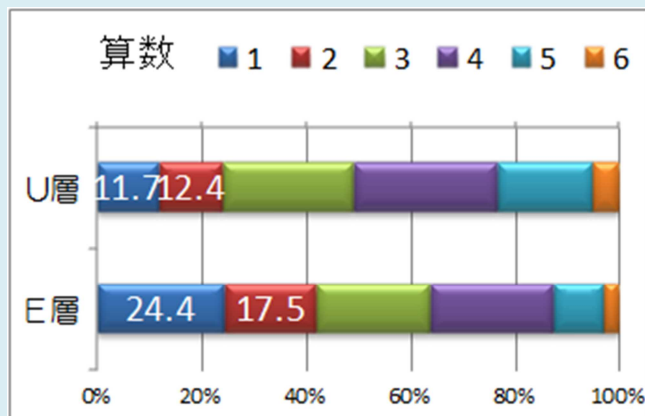
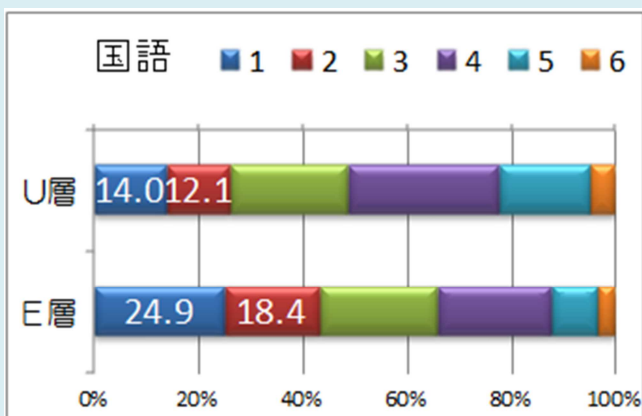
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



5 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1 4時間以上 | 2 3時間以上、4時間より少ない | 3 2時間以上、3時間より少ない |
| 4 1時間以上、2時間より少ない | 5 1時間より少ない | 6 全くしない |



分析結果

○8質問項目中、「17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」などの2項目において、肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「23 新聞を読んでいますか」などの2項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。

○8質問項目中、5項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。

○3年間の経年比較では、「17 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」において、肯定的な回答が増加傾向にありました。

○「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」、「家で、学校の授業の予習・復習をしている」児童は、教科に関する調査において、正答数が高い傾向にあります。

○本市では、学習習慣等についての質問において、学校の授業時間以外に、勉強する時間が増えているものの、読書する時間が十分ではない傾向にあるなど、自主学習への取組の意欲を高める指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

○自主学習に効果的に取り組ませるためには、家での生活を見直し、児童の自主学習への取組の意欲を高めることが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P28
「メディアへの接触を減らし、計画的な自主学習を促す指導の在り方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）
（81.6%）
30 あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか（97.3%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 21 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（27.0%）
※この質問項目については、1日30分以上の割合を肯定的な回答としました。
23 新聞を読んでいますか（14.8%）
※この質問項目については、週1回～3回以上の割合を肯定的な回答としました。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）（7.6）
18 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（0.9）
19 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（6.1）

- 20 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）（6.1）
- 30 あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか（0.4）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

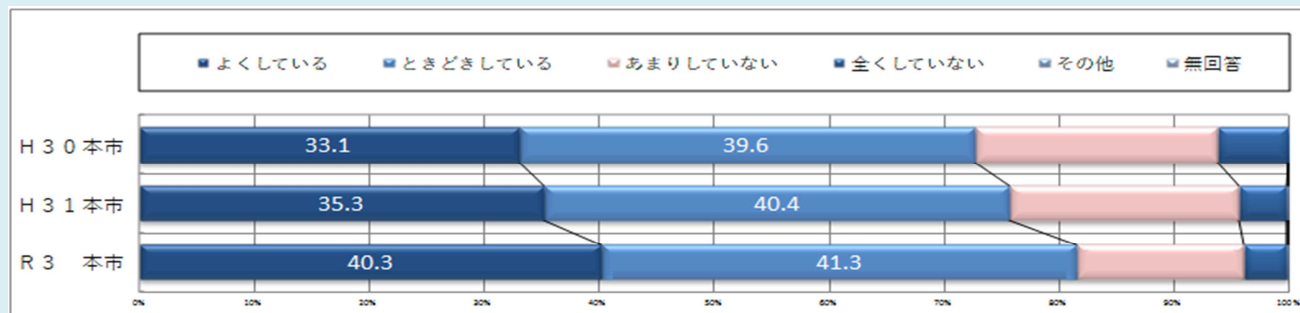
※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 21 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（▲10.4）

※この質問項目については、1日30分以上の割合を肯定的な回答としました。

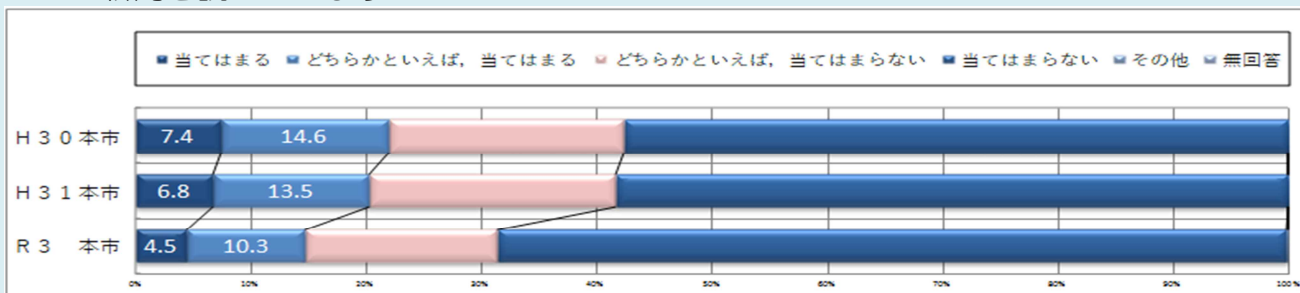
肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

- 17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

- 23 新聞を読んでいますか

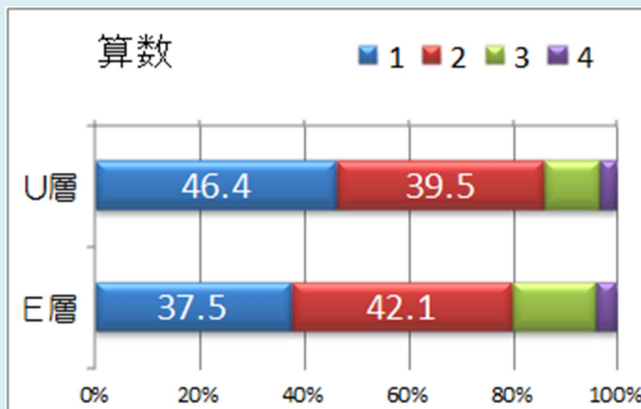
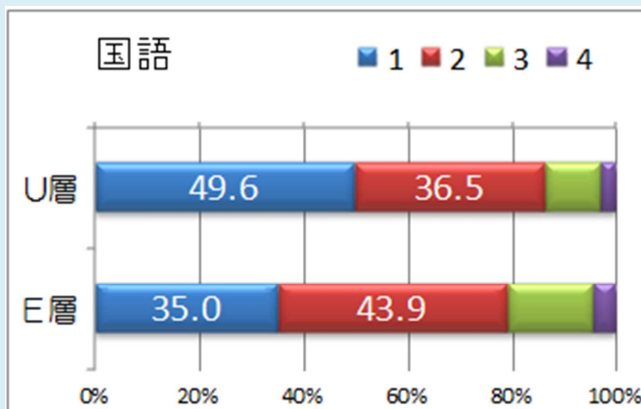


正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

- 17 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）

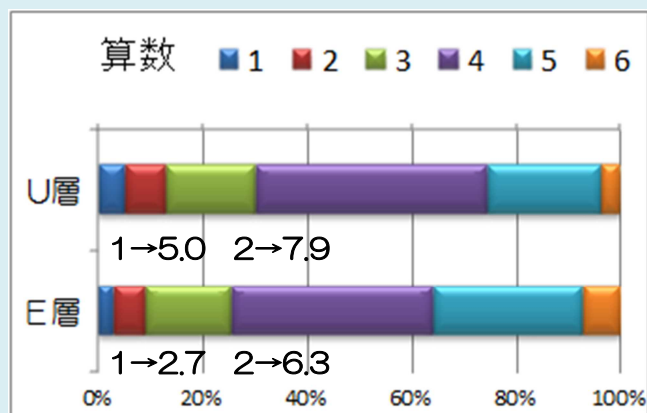
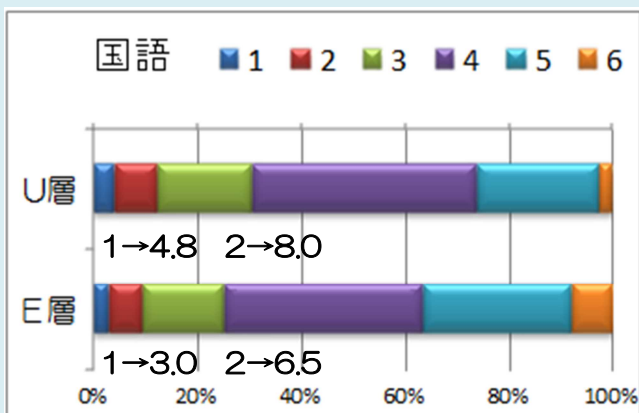
- 1 よくしている
3 あまりしていない

- 2 ときどきしている
4 全くしていない



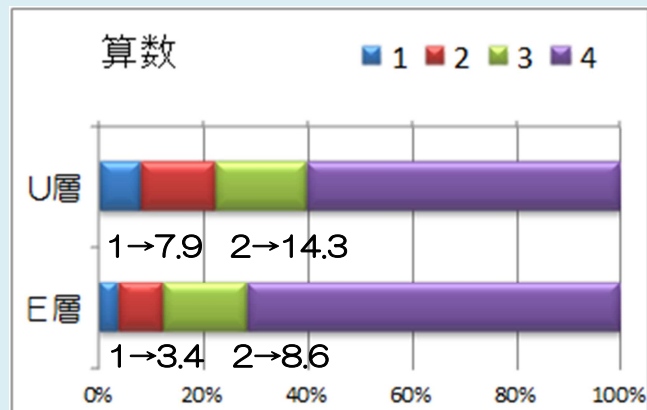
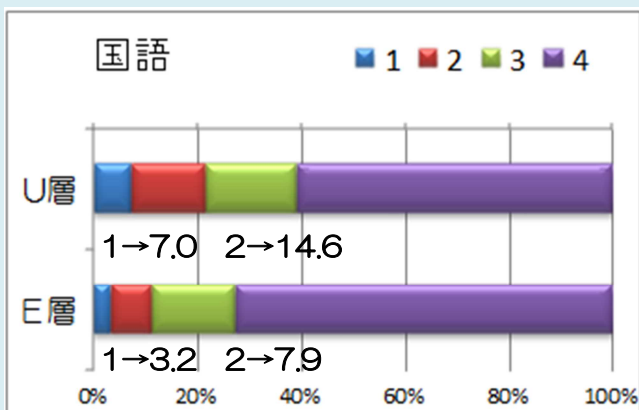
19 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1 4時間以上 | 2 3時間以上、4時間より少ない | 3 2時間以上、3時間より少ない |
| 4 1時間以上、2時間より少ない | 5 10分より少ない | 6 全くしない |



23 新聞を読んでいますか

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 ほぼ毎日読んでいる | 2 週に1～3回程度読んでいる |
| 3 月に1～3回読んでいる | 4 ほとんど、または、全く読まない |



(4)「コロナ禍における学びを止めない対応」について

①新型コロナウイルス感染症の影響

【質問番号】64～67（4問）

分析結果

- 4質問項目中、肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。一方、「64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか」において、肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 4質問項目中、「67 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）」において、肯定的な回答が全国の数値を上回りました。
- 本市では、新型コロナウイルス感染症の影響に係る項目に、肯定的に回答した児童の割合は、低い傾向にあり、コロナ禍においても学びを止めないための指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- コロナ禍においても学びを止めないために、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境を整えることが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P30
「オンライン学習による学びの保障を実現するための事前準備」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- ※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか（58.4%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 67 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）（4.4）
※この質問項目については、「自分で調べた」の回答の割合を肯定的な回答としました。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか（▲3.3）
- 65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか（▲0.5）
- 66 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか（▲2.7）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

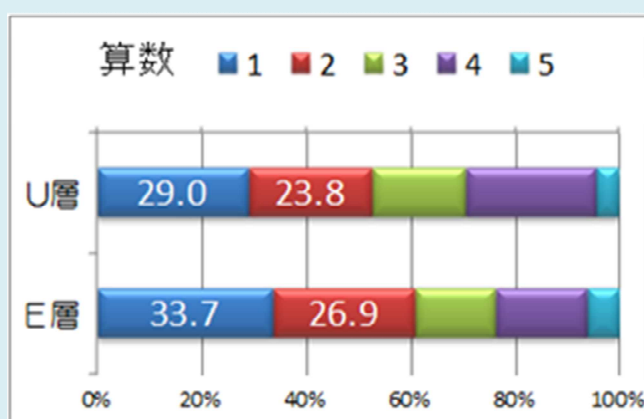
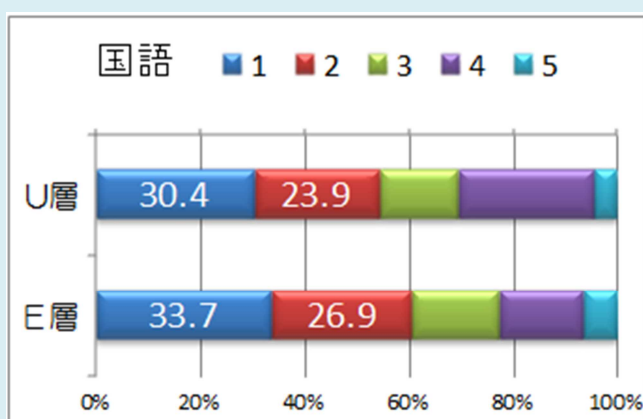
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

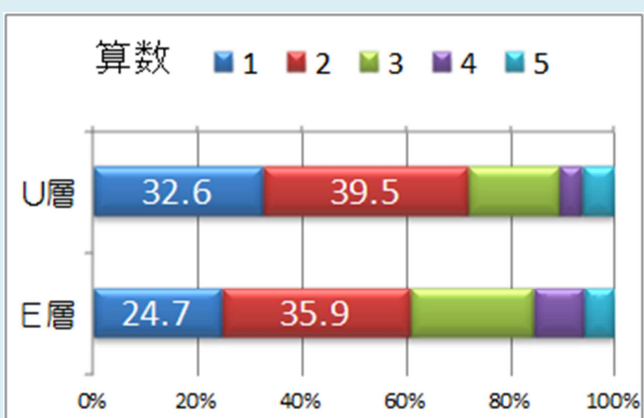
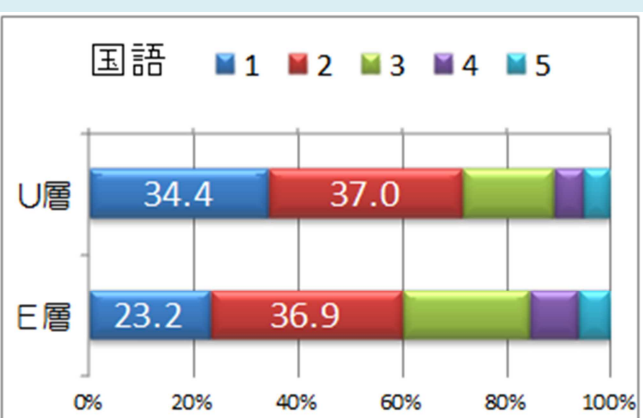
64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



3 中学校の部

(1)「学びを深める授業づくり」について

①地域や社会に関わる活動の状況等

【質問番号】24～25（2問）

分析結果

- 2質問項目中、2項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 2質問項目中、2項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 本市では、地域や社会に関わる活動の状況等についての質問に、肯定的な回答をした生徒の割合が低い傾向にあり、指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の行事が減少傾向にあるためと分析しました。

改善策

- 生徒が、地域や社会に関わる出来事や行事に関心を持てるようにするためには、朝の会や帰りの会等の中で、教師が地域や社会に関わる説話をしたり、生徒が関心を持った地域や社会に関わる新聞記事やニュースを紹介する場面を設定したりするなどの工夫が大切です。
- 生徒が、地域や社会に関わる出来事や行事に関心を持てるようにするためには、各教科等の学習を通して、地域や社会に関する様々な知識や考え方について指導する機会を確保したり、教室の掲示物により教室環境を整備したりするなどの工夫が大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 24 今住んでいる地域の行事に参加していますか（33.8%）
- 25 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（42.9%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 24 今住んでいる地域の行事に参加していますか（▲9.9）
- 25 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（▲0.9）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

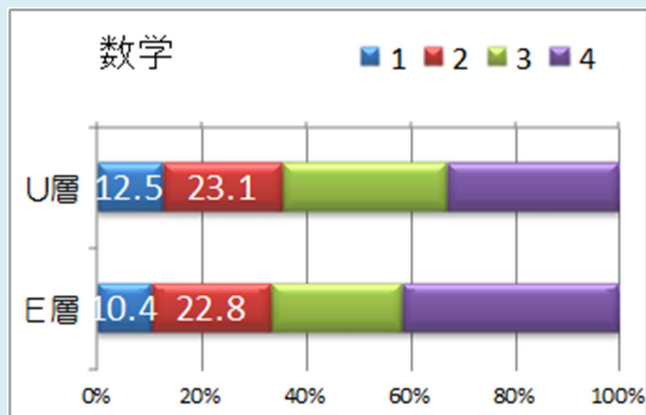
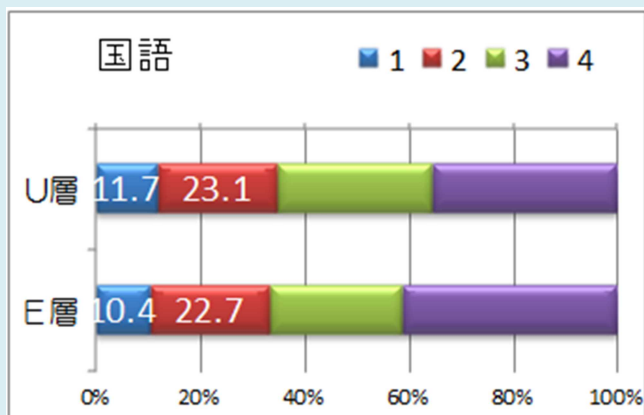
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

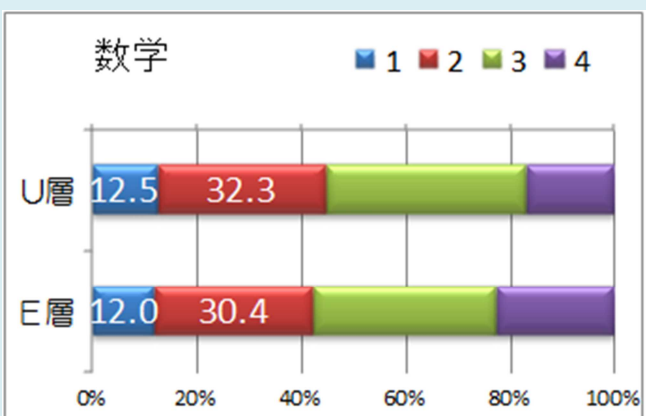
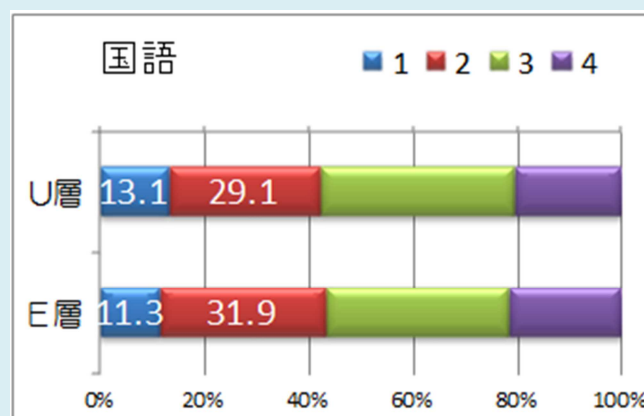
24 今住んでいる地域の行事に参加していますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



25 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



分析結果

- 4質問項目中、「28 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「26 1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」などの3項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 4質問項目中、3項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。
- 本市では、ICT機器を活用した学習状況についての質問に、肯定的な回答をした生徒の割合が低い傾向にあり、ICTを効果的に活用した指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- 学びを深める授業づくりにおいて、一斉学習、個別学習、協働学習のねらいに応じてICT機器を活用することが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P22
「タブレット端末などのICTを活用した授業改善の在り方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 28 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか（95.0%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 26 1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか（21.5%）
- 27 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか（42.9%）
※この2つの質問項目については、週1回以上の割合を肯定的な回答としました。
- 29 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（42.5%）
※この質問項目については、30分以上の割合を肯定的な回答としました。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 27 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか（8.1）
※この質問項目については、週1回以上の割合を肯定的な回答としました。
- 28 学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか（1.8）
- 29 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（0.3）
※この質問項目については、30分以上の割合を肯定的な回答としました。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

26 1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか（▲11.9）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

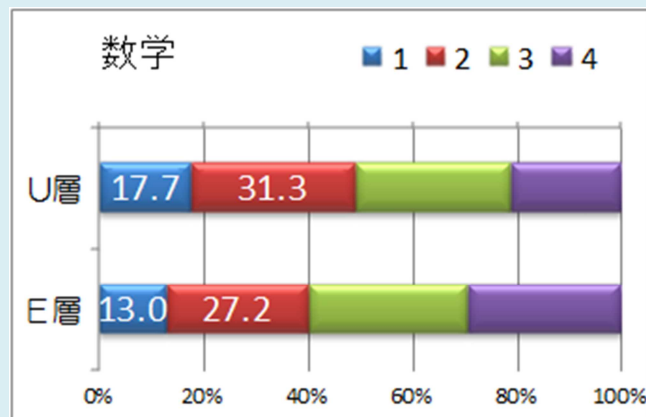
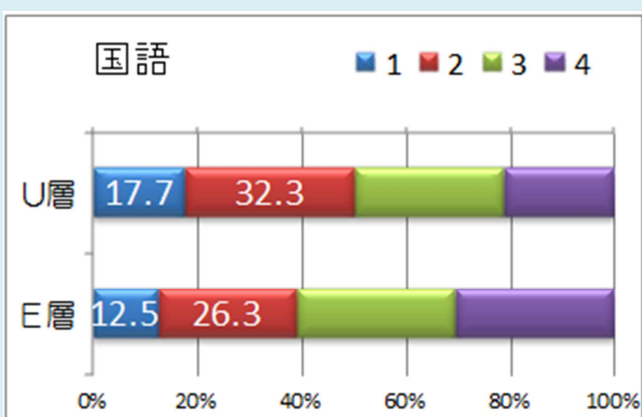
27 あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか

1 ほぼ毎日

2 週1回以上

3 月1回以上

4 月1回未満



③主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

分析結果

【質問番号】31～38（8問）

- 8質問項目中、「36 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか」などの4項目について、肯定的な回答が高い割合を示しました。また、肯定的な回答が低い割合を示した項目はありませんでした。
- 8質問項目中、「37 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」などの8項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、肯定的な回答が全国の数値を下回った項目はありませんでした。
- 3年間の経年比較では、「32 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」などの2項目について、肯定的な回答が増加傾向にありました。
- 「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」、「1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」生徒は、教科に関する調査において、正答数が高い傾向にあります。
- 本市では、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に係る質問項目において、肯定的に回答した生徒の割合が高い傾向にあり、各中学校において、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が校内研修等を通じて、着実に進められている状況であると分析しました。

改善策

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を一層推進するためには、生徒の学習状況等に着目し、学習指導の改善・充実を図る観点から、学校全体で組織的・継続的な取組を進めることが大切です。
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を一層推進するためには、各教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせる場面を設定したり、ICTを効果的に活用するなどの手立てを工夫したりすることが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P22
「タブレット端末などのICTを活用した授業改善の在り方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 31 1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか（85.4%）
- 33 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（82.8%）
- 36 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか（96.6%）
- 37 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか（82.5%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※ () 内の数値は、全国との差を表しています。

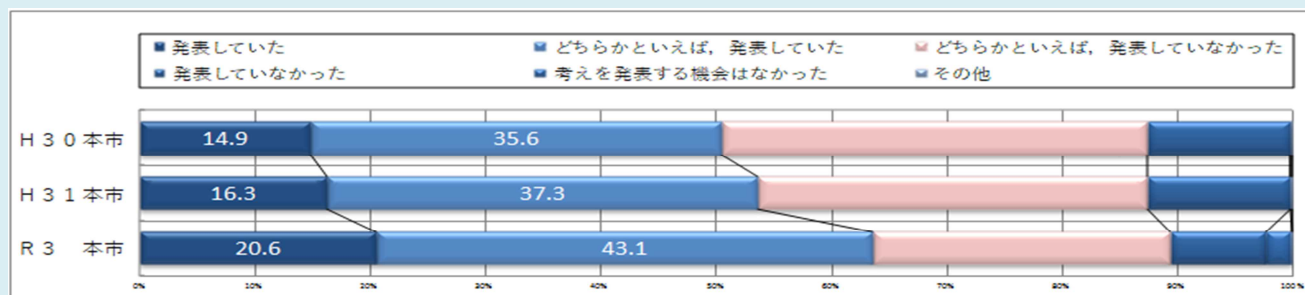
- 3 1 1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか（1.8）
- 3 2 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか（1.7）
- 3 3 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（1.8）
- 3 4 1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか（4.7）
- 3 5 1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか（3.0）
- 3 6 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか（0.1）
- 3 7 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか（4.7）
- 3 8 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか（3.0）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

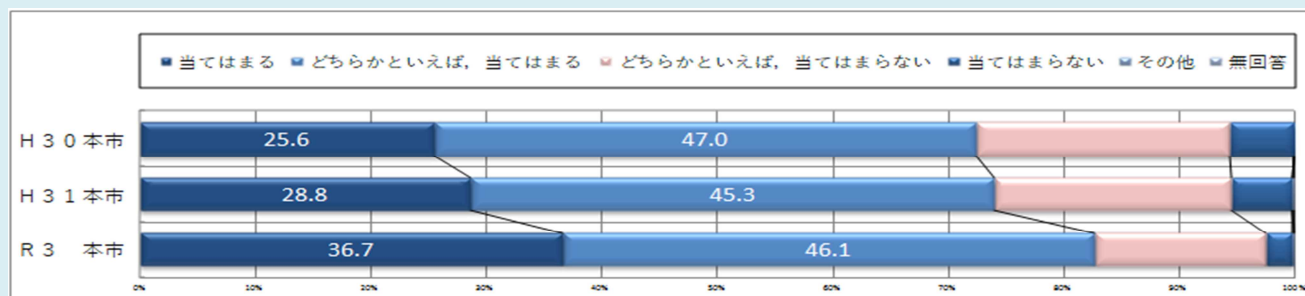
※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

- 3 2 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



- 3 3 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



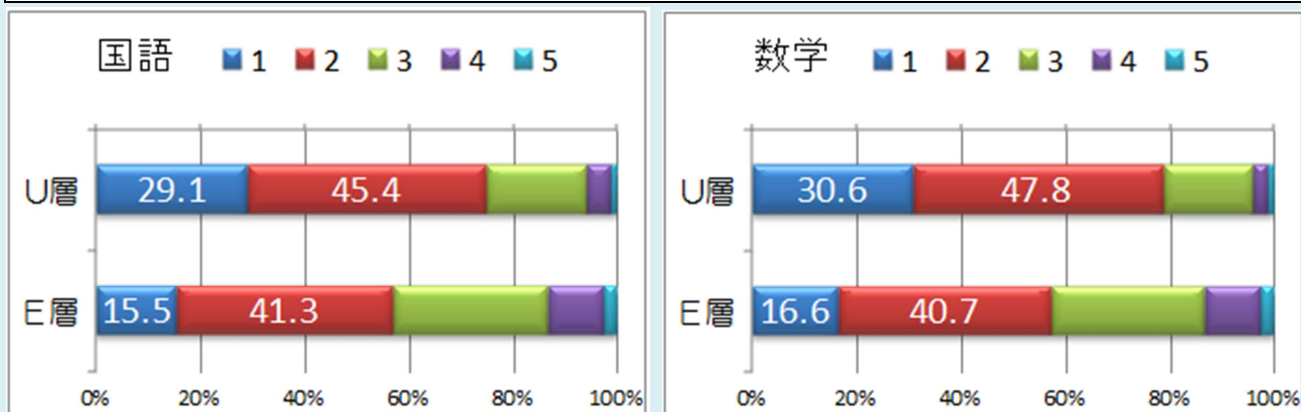
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

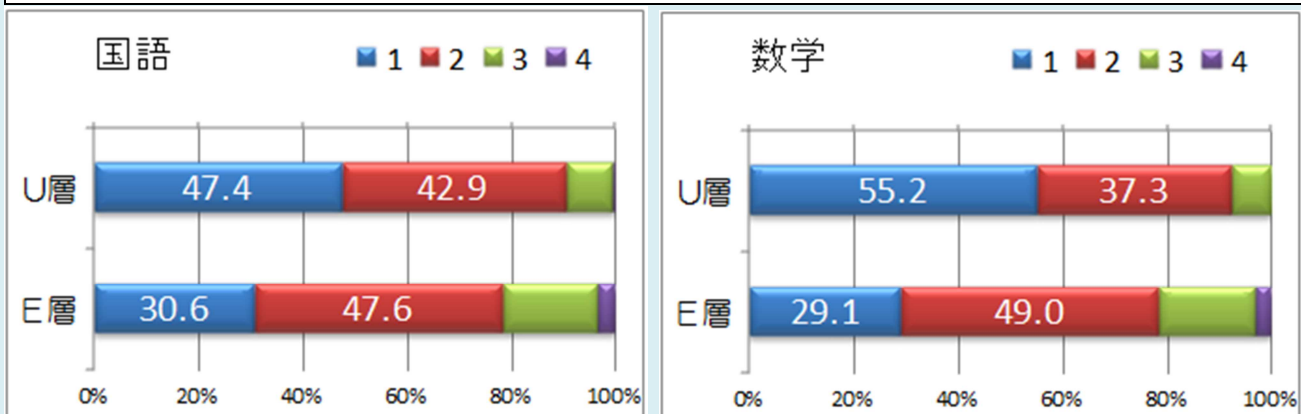
32 1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

- 1 発表していた 2 どちらかといえば、発表していた 3 どちらかといえば、発表していなかった
4 発表していなかった 5 考えを発表する機会はなかった



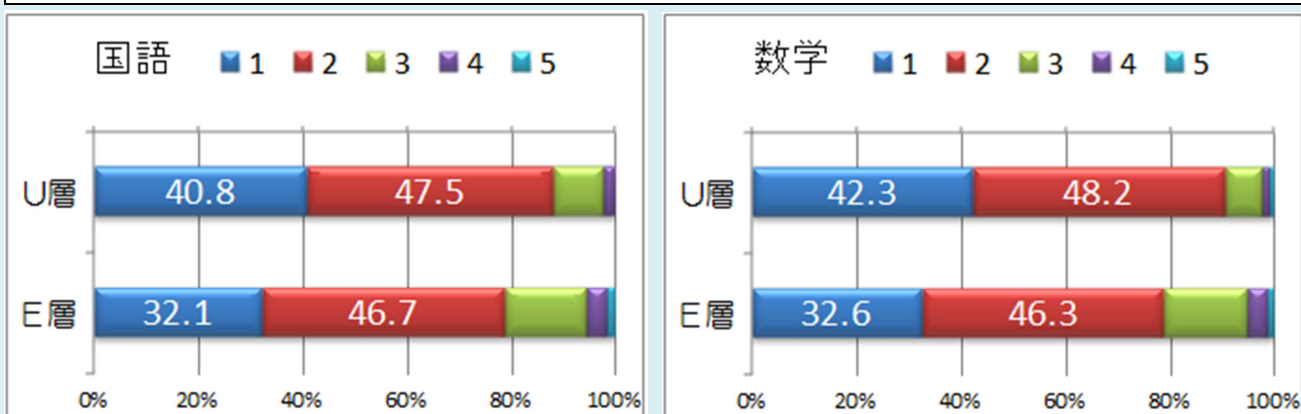
33 1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

- 1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない



37 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか

- 1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない



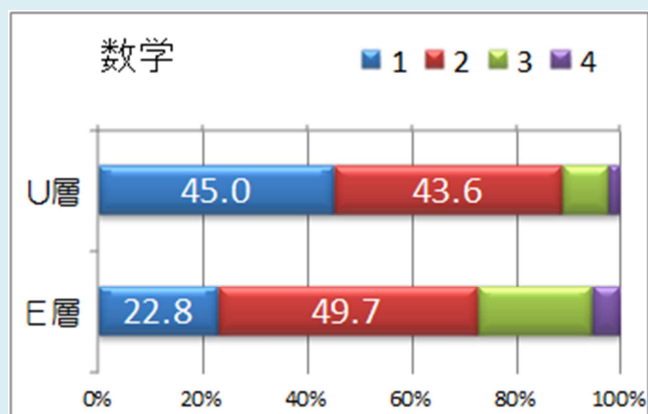
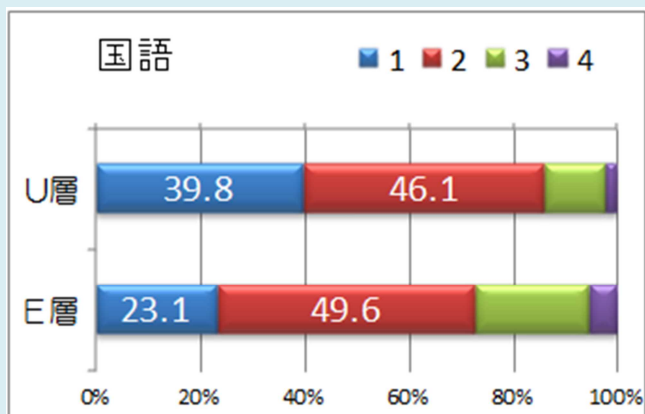
38 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

1 当てはまる

2 どちらかといえば、当てはまる

3 どちらかといえば、当てはまらない

4 当てはまらない



分析結果

- 4質問項目中、「42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 4質問項目中、「39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」などの2項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「40 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」などの2項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。
- 本市では、特別の教科 道徳における話し合い活動等についての質問項目において、肯定的な回答が全国の数値を下回り、指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、特別の教科 道徳等においても、話し合い活動の充実など授業改善をすることが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか（85.9%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- ※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか（9.0）
- 41 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか（1.3）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 40 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか（▲0.2）
- 42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか（▲0.3）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

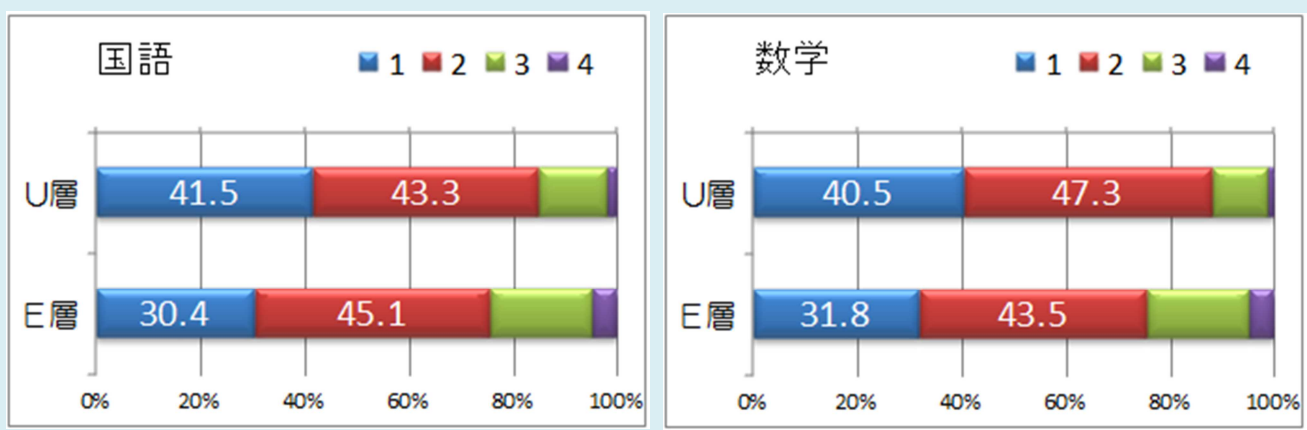
39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

1 当てはまる

2 どちらかといえば、当てはまる

3 どちらかといえば、当てはまらない

4 当てはまらない



分析結果

- 9質問項目中、「44 国語の勉強は大切だと思いますか」などの6項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 9質問項目中、「43 国語の勉強は好きですか」などの8項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「51 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか」において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。
- 本市では、国語に関する興味・関心、授業の理解度等についての質問に、肯定的に回答した生徒の割合が高い傾向にあり、望ましい状況であると分析しました。

改善策

- 9質問項目において、肯定的な回答が高い割合を示したり、肯定的な回答が全国の数値を上回ったりした質問項目が多く、今後もこれまでと同様に、授業改善を進めていくことが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 44 国語の勉強は大切だと思いますか（93.4%）
- 45 国語の授業の内容はよく分かりますか（86.7%）
- 46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（91.1%）
- 47 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか（84.6%）
- 49 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか（80.2%）
- 50 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか（81.6%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 43 国語の勉強は好きですか（6.8）
- 44 国語の勉強は大切だと思いますか（1.8）
- 45 国語の授業の内容はよく分かりますか（6.6）
- 46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（2.4）
- 47 国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか（2.8）
- 48 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか（1.6）

- 49 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか（5.6）
- 50 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか（4.6）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 51 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか（▲0.8）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

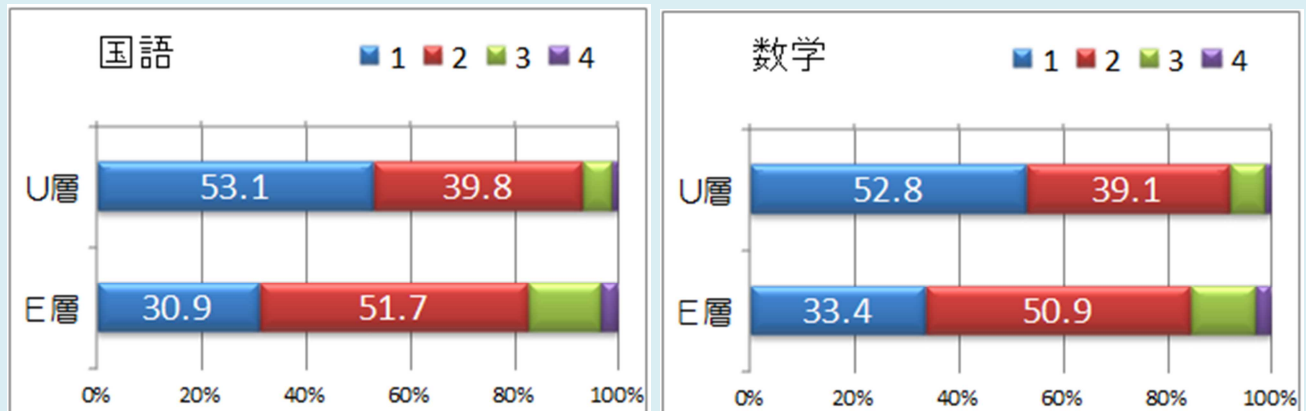
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

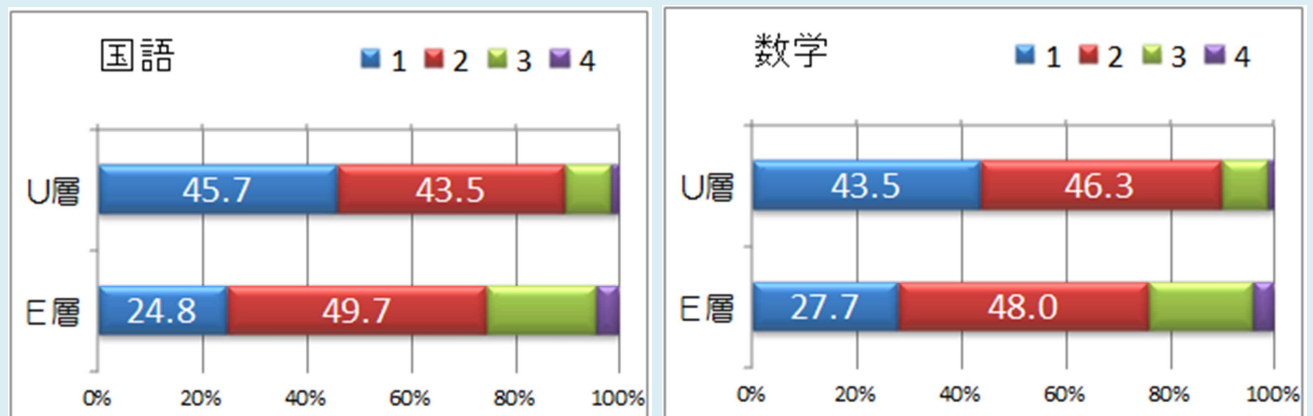
45 国語の授業の内容はよく分かりますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



49 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



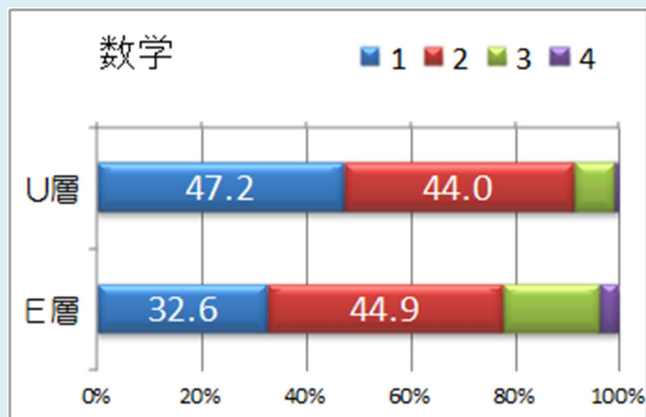
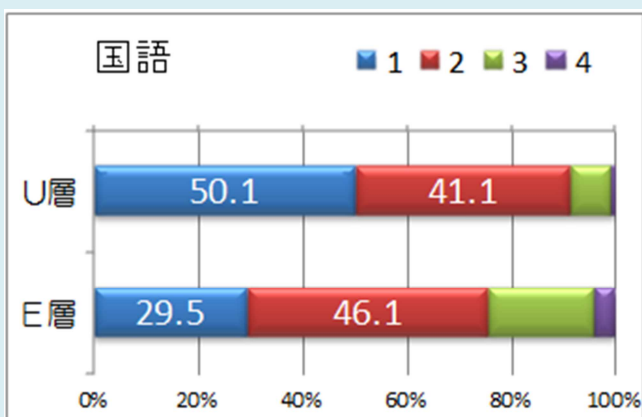
50 国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか

1 当てはまる

2 どちらかといえば、当てはまる

3 どちらかといえば、当てはまらない

4 当てはまらない



分析結果

- 9質問項目中、「59 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」などの3項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「56 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」などの3項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 9質問項目中、「52 数学の勉強は好きですか」などの6項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「57 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」などの3項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、「53 数学の勉強は大切だと思いますか」などの4項目において、肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方、肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。
- 本市では、数学に関する興味・関心、授業の理解度等についての質問項目に、肯定的に回答した生徒の割合は、増加傾向にありますが、全国の数値を下回っている質問項目もあり、分かる授業により学習意欲を高める指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- 生徒が「分かる」授業を行うためには、育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。
- 生徒が「分かる」授業を行ったり、生徒に学んだことを活用させたりするためには、単元や内容のまとまりを意識し、効果的なまとめや振り返りを行うことが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 53 数学の勉強は大切だと思いますか（85.3%）
- 58 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか（85.2%）
- 59 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（91.9%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 52 数学の勉強は好きですか（56.3%）
- 56 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか（49.1%）
- 60 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか（56.5%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

- 52 数学の勉強は好きですか（2.8）
- 53 数学の勉強は大切だと思いますか（1.2）

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 54 数学の授業の内容はよく分かりますか（1.7）
 55 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか（2.1）
 58 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか（1.7）
 59 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか（5.3）

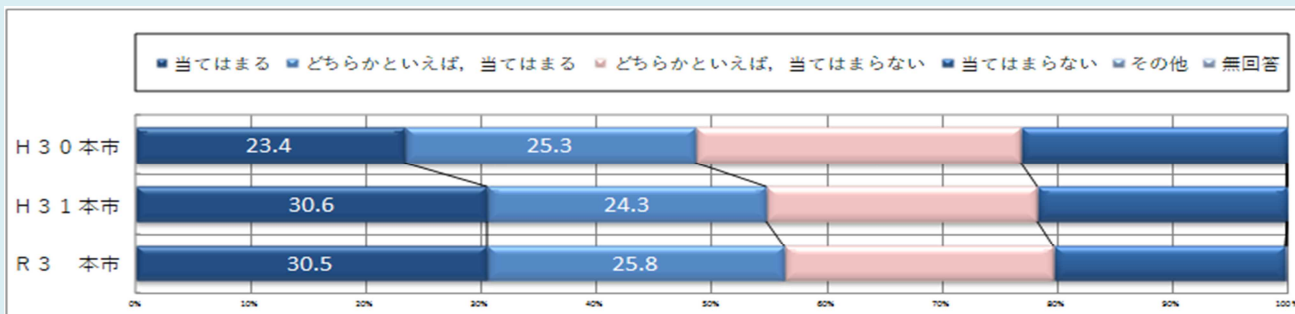
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

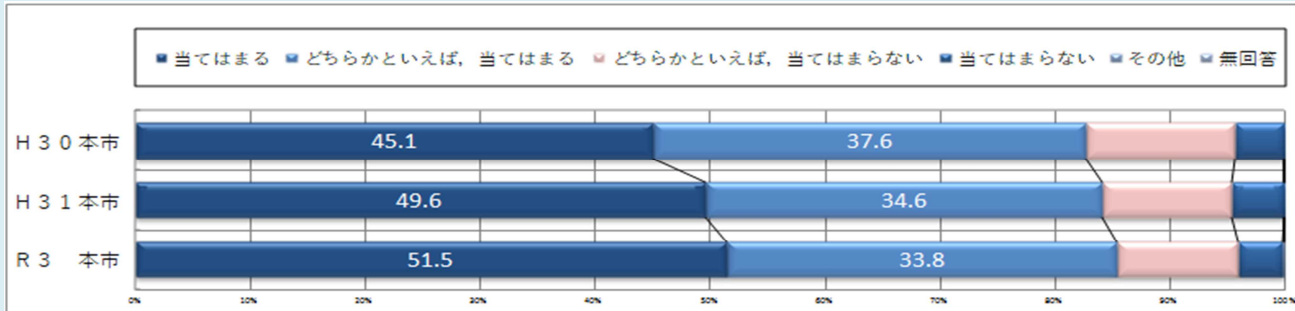
- 56 数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか（▲1.5）
 57 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか（▲0.1）
 60 今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか（▲1.3）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

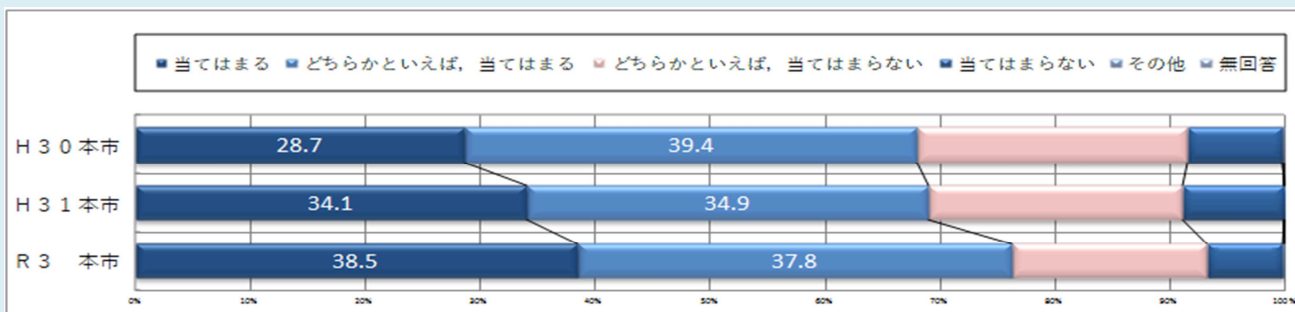
52 数学の勉強は好きですか



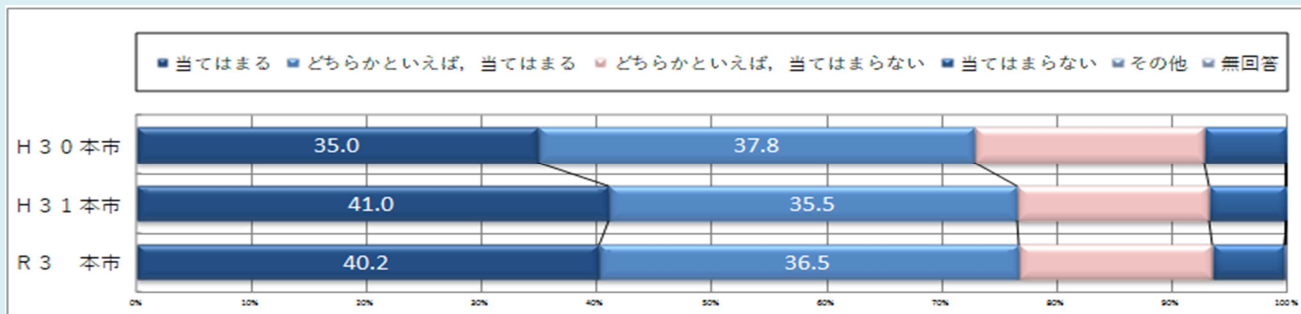
53 数学の勉強は大切だと思いますか



54 数学の授業の内容はよく分かりますか



55 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思います



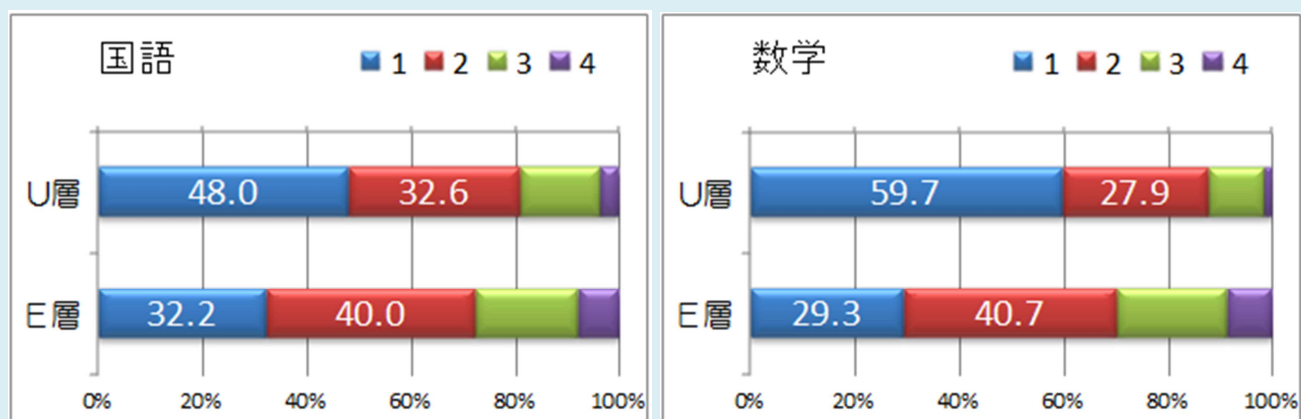
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

57 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



分析結果

- 3質問項目中、肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。一方、「63 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分になりましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）」などの2項目において肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 3質問項目中、肯定的な回答が全国の数値を上回る項目はありませんでした。一方、「61 英語の勉強は好きですか」などの3項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。
- 本市では、英語に関する興味・関心、授業の理解度等についての一連の質問に、肯定的な回答をした生徒の割合が低い傾向にあり、分かる授業により学習意欲を高める指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- 生徒が「分かる」授業を行うためには、育てたい資質・能力を明確にした指導計画を作成することが大切です。
- 生徒が「分かる」授業を行ったり、生徒に学んだことを活用させたりするためには、適切な言語活動を設定することが大切です。

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 61 英語の勉強は好きですか（48.9%）
- 63 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分になりましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）（27.2%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 61 英語の勉強は好きですか（▲7.8）
- 62 1, 2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか（▲5.1）
- 63 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分になりましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）（▲7.6）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

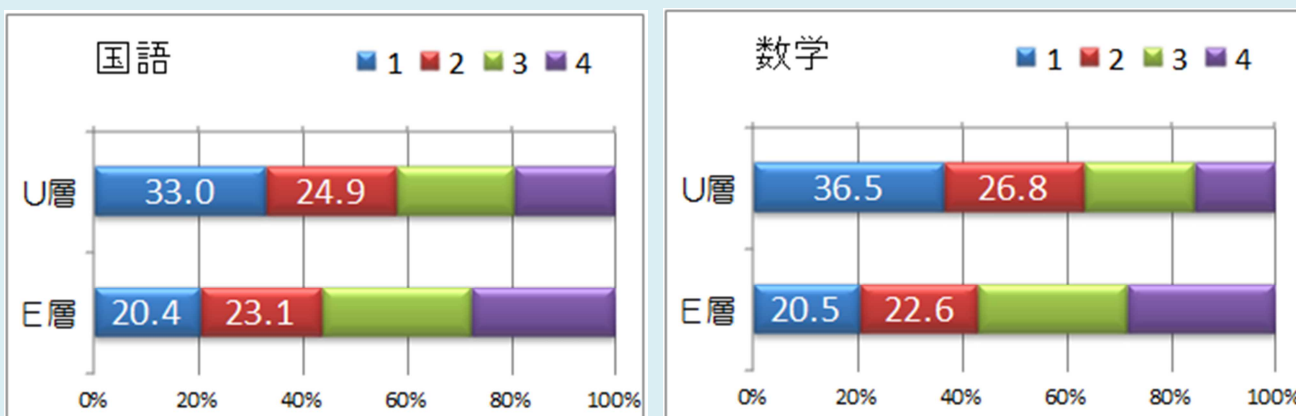
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

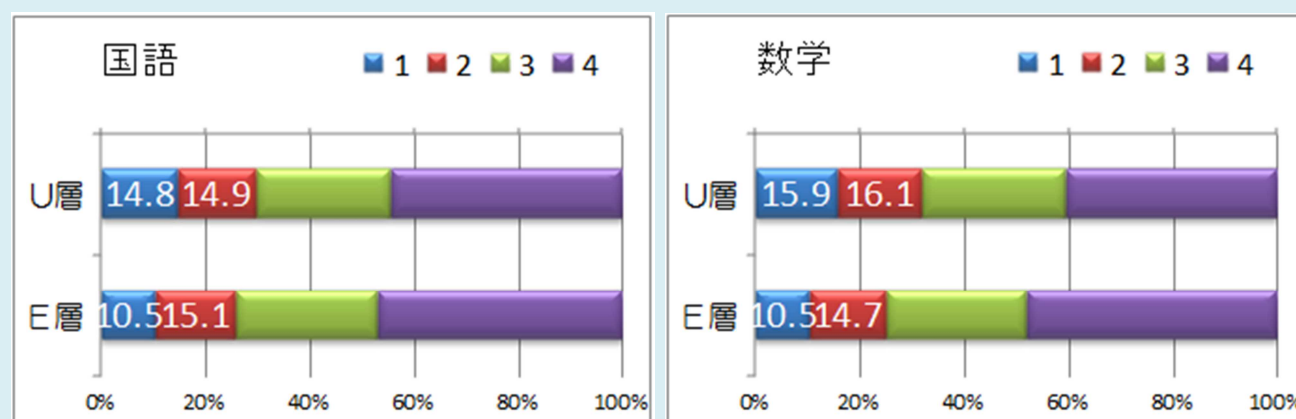
6.1 英語の勉強は好きですか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



6.3 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



(2)「落ち着いた学級づくり」について

①挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

【質問番号】6～16（11問）

分析結果

- 11 質問項目中、「11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」などの5項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 11 質問項目中、「8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」などの8項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「13 学校に行くのは楽しいと思いますか」などの3項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、肯定的な回答が増加傾向及び減少傾向にある項目はありませんでした。
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」生徒は、教科に関する調査において、正答数が高い傾向にあります。
- 本市では、規範意識等の質問に、肯定的に回答した生徒の割合が高い傾向にある一方、自己有用感等についての質問において、肯定的な回答が全国の数値を下回り、指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- 生徒が、自信をもって自分の考えを伝えたり、互いの考えを深めたりするには、安心して自分を表現できる落ち着いた学級づくりが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P26
「隠れたカリキュラムを意識した人間関係づくりの進め方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか（86.4%）
- 10 人が困っているときは、進んで助けていますか（87.8%）
- 11 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（98.5%）
- 12 人の役に立つ人間になりたいと思いますか（95.4%）
- 16 友達と協力するのは楽しいと思いますか（93.7%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 7 将来の夢や目標を持っていますか（1.7）
- 8 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか（2.2）
- 9 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか（0.4）

- 1 1 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか (2.6)
 1 2 人の役に立つ人間になりたいと思いますか (0.4)
 1 4 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか (1.1)
 1 5 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか (0.3)
 1 6 友達と協力するのは楽しいと思いますか (0.4)

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※ () 内の数値は、全国との差を表しています。

- 6 自分には、よいところがあると思いますか (▲1.2)
 1 0 人が困っているときは、進んで助けていますか (▲0.7)
 1 3 学校に行くのは楽しいと思いますか (▲1.5)

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

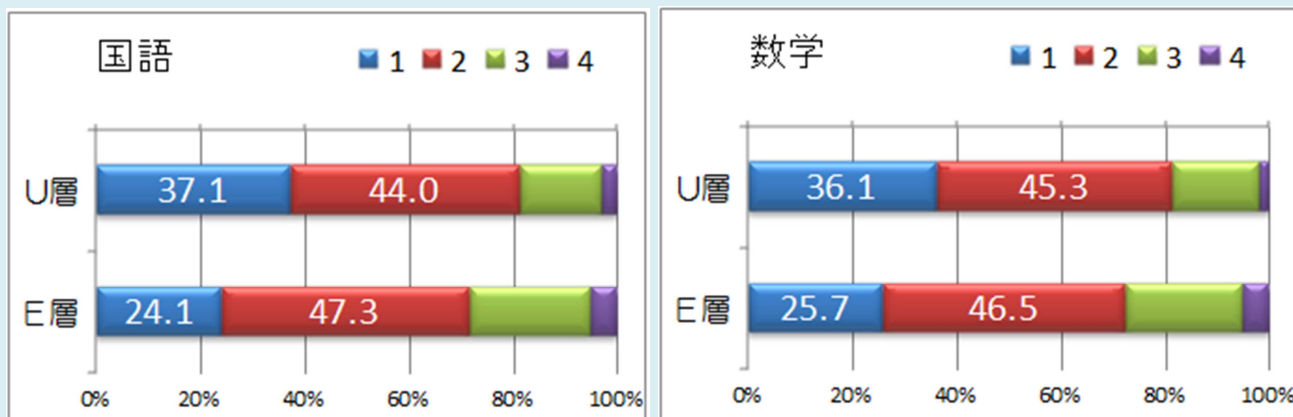
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い生徒 (U層) とそれ以外の生徒 (E層) とのクロス集計

- 1 5 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



(3)「望ましい学習習慣づくり」について

①基本的生活習慣等

【質問番号】 1～5（5問）

分析結果

- 5質問項目中、「1 朝食を毎日食べていますか」などの4項目において肯定的な回答が高い割合を示しました。肯定的な回答が低い割合を示す項目はありませんでした。
- 5質問項目中、「2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」などの3項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「1 朝食を毎日食べていますか」の項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、「3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」などの2項目において、肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方、肯定的な回答が減少傾向にある項目はありませんでした。
- 「朝食を毎日食べている」「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする時間が短い」生徒は、教科に関する調査において、正答率が高い傾向にあります。
- 本市では、基本的生活習慣等についての質問に、肯定的に回答した生徒の割合は、平成30年度、平成31年度とほぼ同様の傾向にあり、引き続き、基本的生活習慣を身に付けさせる指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- アウトメディアや「LS（Life&Study）プランチェックシート」を活用するなどして、自主学習の取組意欲の向上を図ることが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P28
「メディアへの接触を減らし、計画的な自主学習を促す指導の在り方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 1 朝食を毎日食べていますか（91.1%）
- 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか（80.1%）
- 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（92.9%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか（0.3）
- 3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか（0.2）
- 4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか（1.4）

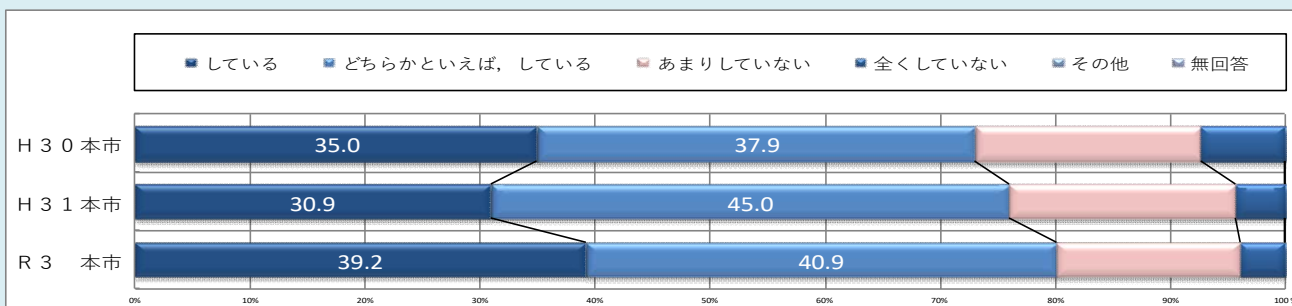
肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

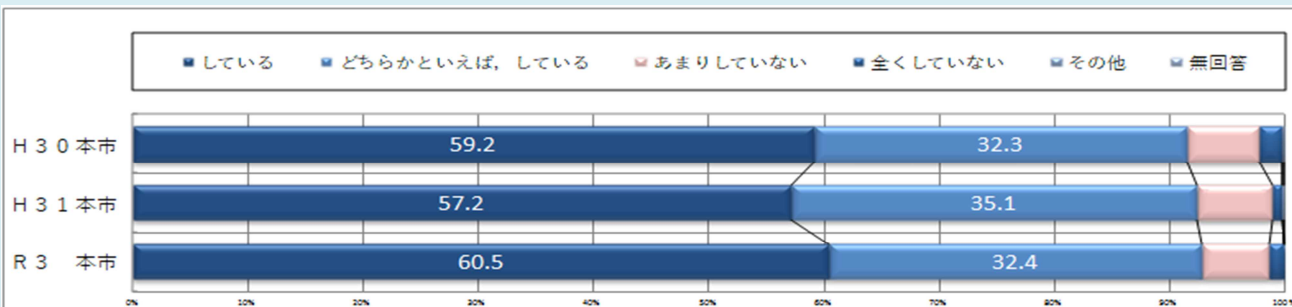
1 朝食を毎日食べていますか（▲1.7）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



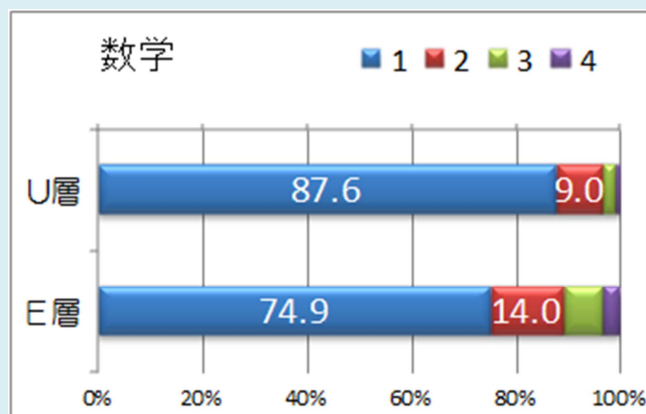
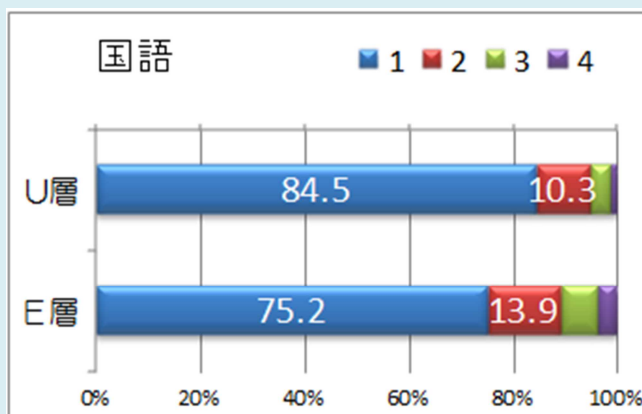
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い生徒（U層）とそれ以外の生徒（E層）とのクロス集計

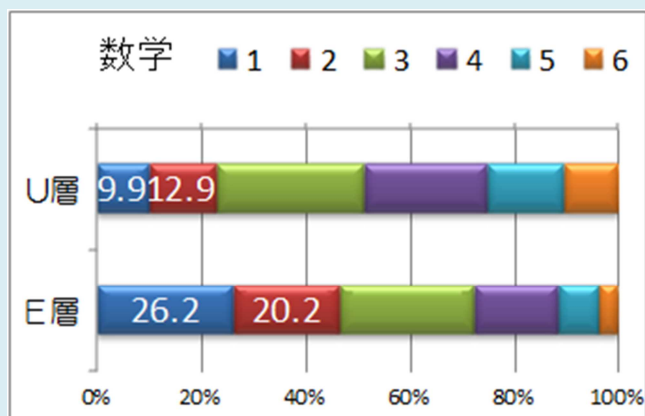
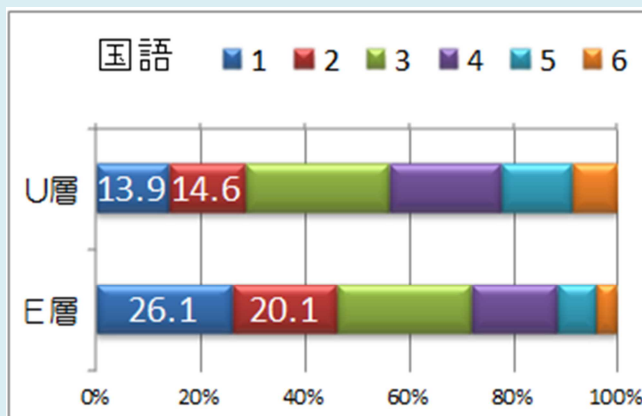
1 朝食を毎日食べていますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



5 普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1 4時間以上 | 2 3時間以上，4時間より少ない | 3 2時間以上，3時間より少ない |
| 4 1時間以上，2時間より少ない | 5 1時間より少ない | 6 全くしない |



分析結果

- 8質問項目中、1項目で、肯定的な回答が高い割合を示しました。一方、「23 新聞を読んでいますか」などの3つの項目において、肯定的な回答が低い割合を示しました。
- 8質問項目中、「21 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」などの4項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。一方、「20 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）」などの3項目において肯定的な回答が全国の数値を下回りました。
- 3年間の経年比較では、「18 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」において、肯定的な回答が増加傾向を示しました。一方、「23 新聞を読んでいますか」において、肯定的な回答が減少傾向を示しました。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）」、「土曜日や日曜日など学校が休みの日にも勉強をしている（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」「新聞を読んでいる」生徒は、教科に関する調査において、正答数が高い傾向にあります。
- 本市では、学習習慣等についての質問において、肯定的に回答した生徒の割合が低い傾向が見られ、自主学習に効果的に取り組ませる指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

- 自主学習に計画的に取り組ませるためには、家での生活を見直し、生徒の自主学習への取組の意欲を高めることが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P28
「メディアへの接触を減らし、計画的な自主学習を促す指導の在り方」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

- 30 あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか（96.4%）

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 20 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）（47.4%）
- 21 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（32.0%）
※この質問項目については、1日30分以上の割合を肯定的な回答としました。
- 23 新聞を読んでいますか（12.5%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

- 17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）（2.9）

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 21 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）（3.1）
 ※この質問項目については、1日30分以上の割合を肯定的な回答としました。
- 23 新聞を読んでいますか（2.1）
- 30 あなたは、家でどれくらい日本語を話しますか（0.1）

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

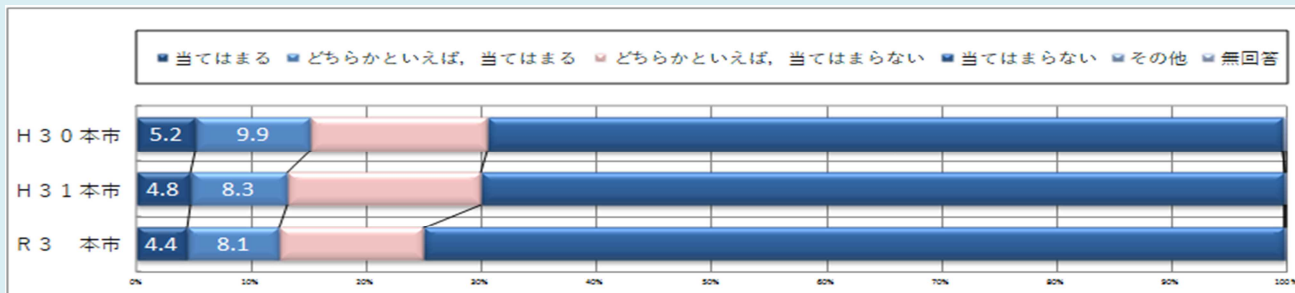
- 18 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（▲3.9）
- 19 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（▲2.6）
 ※この2つの質問項目については、1日1時間以上の割合を肯定的な回答としました。
- 20 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）（▲11.7）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

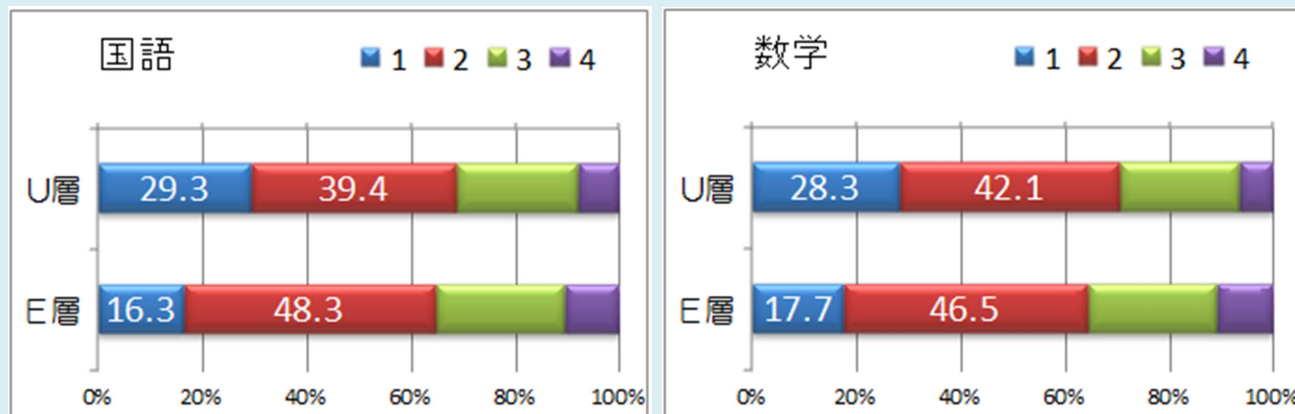
23 新聞を読んでいますか



正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

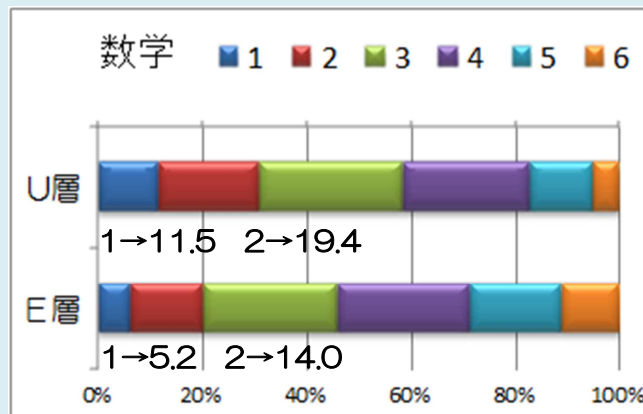
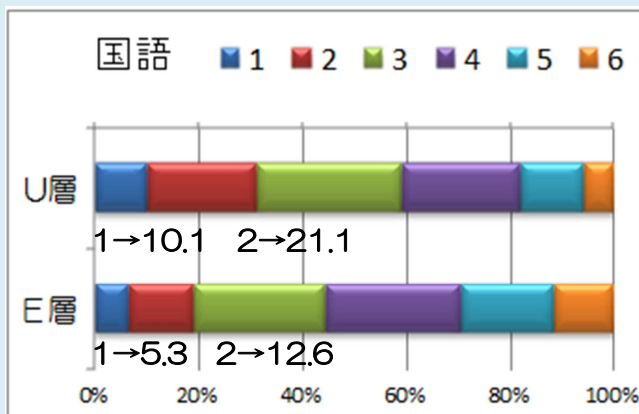
17 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）

- | | |
|------------|-------------|
| 1 よくしている | 2 とときどきしている |
| 3 あまりしていない | 4 全くしていない |



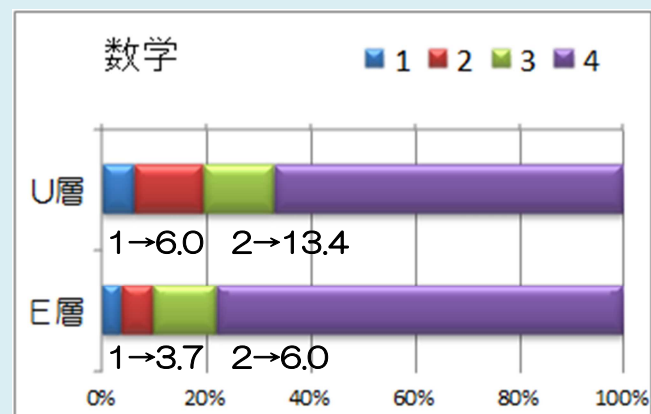
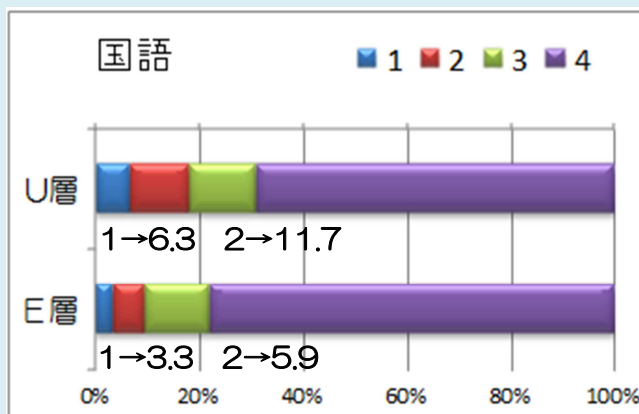
19 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1 4時間以上 | 2 3時間以上、4時間より少ない | 3 2時間以上、3時間より少ない |
| 4 1時間以上、2時間より少ない | 5 10分より少ない | 6 全くしない |



23 新聞を読んでいますか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



(4)「コロナ禍における学びを止めない対応」について

①新型コロナウイルス感染症の影響

【質問番号】64～67（4問）

分析結果

- 4質問項目中、肯定的な回答が高い割合を示す項目はありませんでした。
- 4質問項目中、「67 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか」の項目において肯定的な回答が全国の数値を上回りました。
- 「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、勉強について不安を感じていない」、「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができた」生徒は、教科に関する調査において、正答数が高い傾向にあります。
- 本市では、新型コロナウイルス感染症の影響に係る項目に、肯定的に回答した児童の割合は、低い傾向にあり、コロナ禍においても学びを止めないための指導の改善・充実が一層求められる状況であると分析しました。

改善策

○コロナ禍においても学びを止めないために、子どもたちが安心して学ぶことのできる環境を整えることが大切です。

本改善策については、「調査結果報告書・指導の改善策」P30
「オンライン学習による学びの保障を実現するための事前準備」へ

肯定的な回答が高い割合を示した質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

肯定的な回答が低い割合を示した質問項目

- 65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか（36.0%）
- 66 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか（48.0%）

肯定的な回答が全国の数値を上回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 67 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか（複数選択）（6.3）
※この質問項目については、「自分で調べた」の回答の割合を肯定的な回答としました。

肯定的な回答が全国の数値を下回った質問項目

※（ ）内の数値は、全国との差を表しています。

- 64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか（▲1.1）
- 65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか（▲1.6）
- 66 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか（▲0.4）

肯定的な回答が増加傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

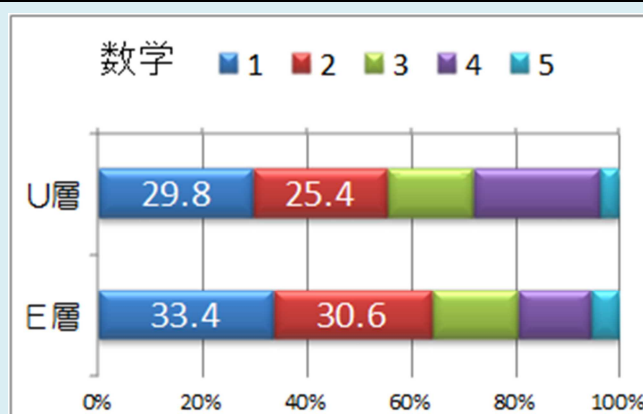
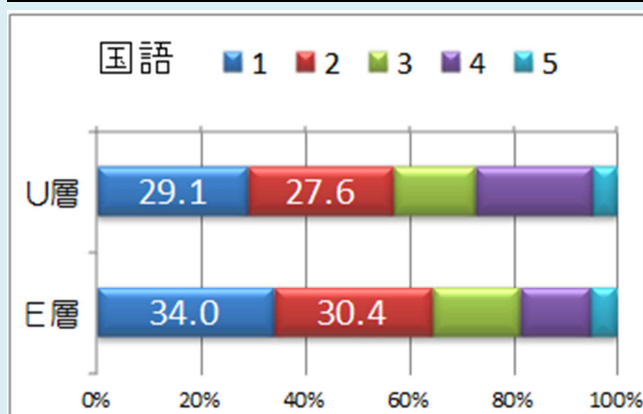
肯定的な回答が減少傾向にある質問項目

※ この分類の中では、該当する質問項目はありませんでした。

正答数が多い児童（U層）とそれ以外の児童（E層）とのクロス集計

64 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |



65 新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が臨時休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 当てはまる | 2 どちらかといえば、当てはまる |
| 3 どちらかといえば、当てはまらない | 4 当てはまらない |

